

令和3年度 人権に関する市民意識調査 報告書



室戸市

令和4年3月実施

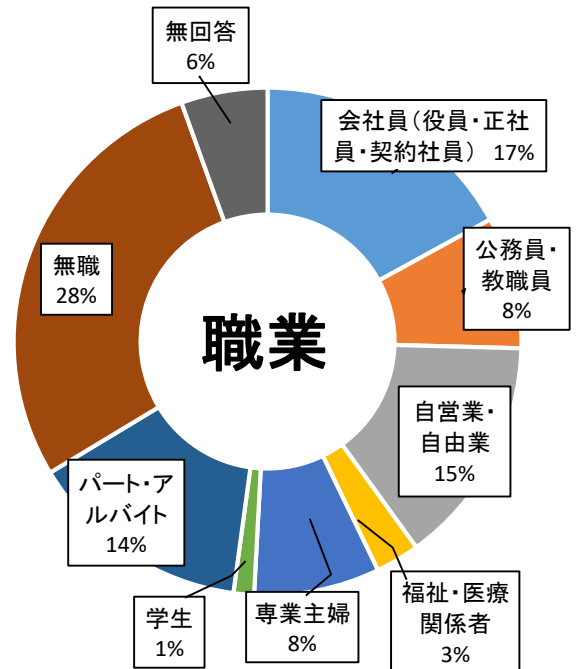
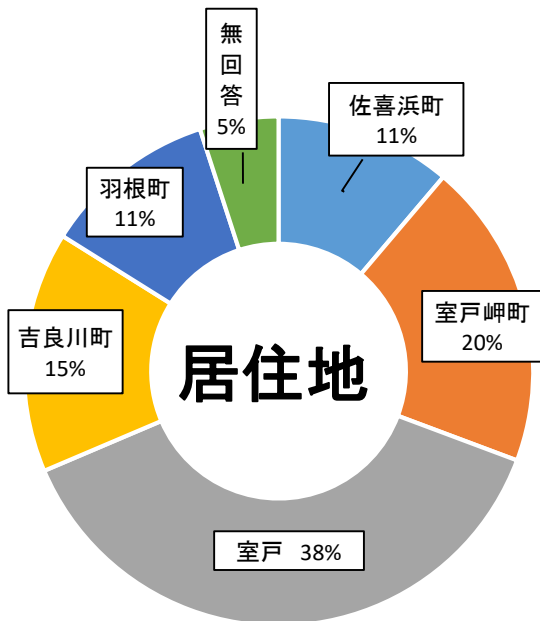
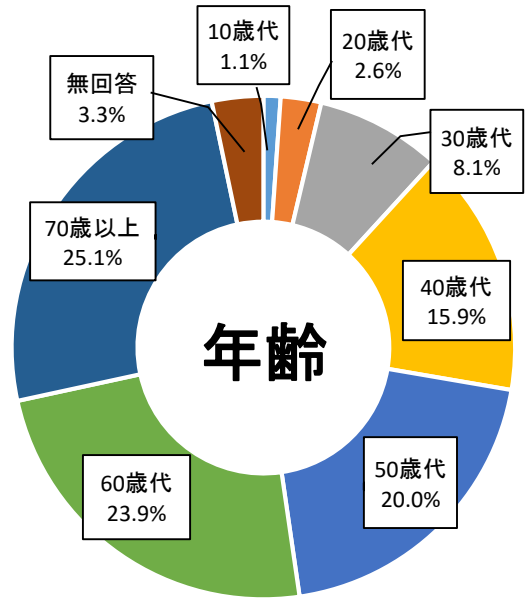
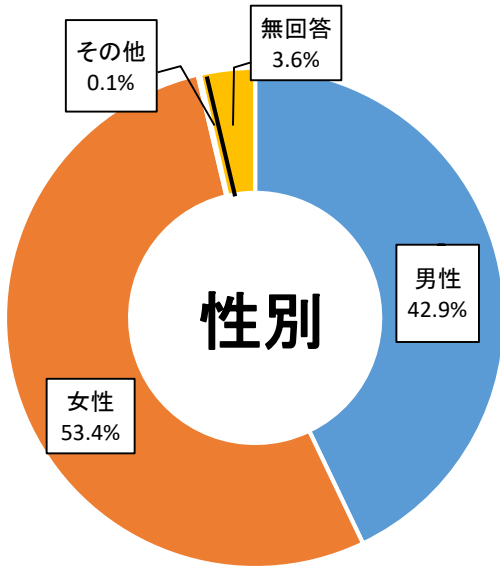
調査概要

- 調査目的: 室戸市では、すべての市民の人権が尊重されるまちづくりをめざし、様々な取組を進めています。そこで、今回、私たちのまわりにある様々な人権問題について、市民の皆様のご意見をお聞きし、今後の人権施策を進めていく資料に活用することを目的として、「人権に関する市民意識調査」を実施いたします。
- 調査対象: 住民基本台帳から無作為に抽出した満18歳以上の室戸市民2,000人
- 調査期間: 令和4年3月1日～3月31日
- 調査内容
 - 回答者の属性
 - 1 人権全般について
 - 2 女性の人権について
 - 3 子どもの人権について
 - 4 高齢者の人権について
 - 5 障がいのある方の人権について
 - 6 同和問題(部落差別)について
 - 7 日本に居住する外国人の人権について
 - 8 感染症患者等の人権について
 - 9 犯罪被害者とその家族の人権について
 - 10 インターネットによる人権侵害について
 - 11 性的指向・性自認に関する人権について
 - 12 災害と人権について
 - 13 人権教育・啓発について
- 調査方法: 郵送調査法
- 実施機関: 室戸市人権啓発課
- 回収状況: 有効回収数 704人(女性376人、男性302人、性別無回答25人、その他1人)
 有効回収率 35.2%(女性18.8%、男性15.1%)
 ※年齢・性別不明を含めた回収率



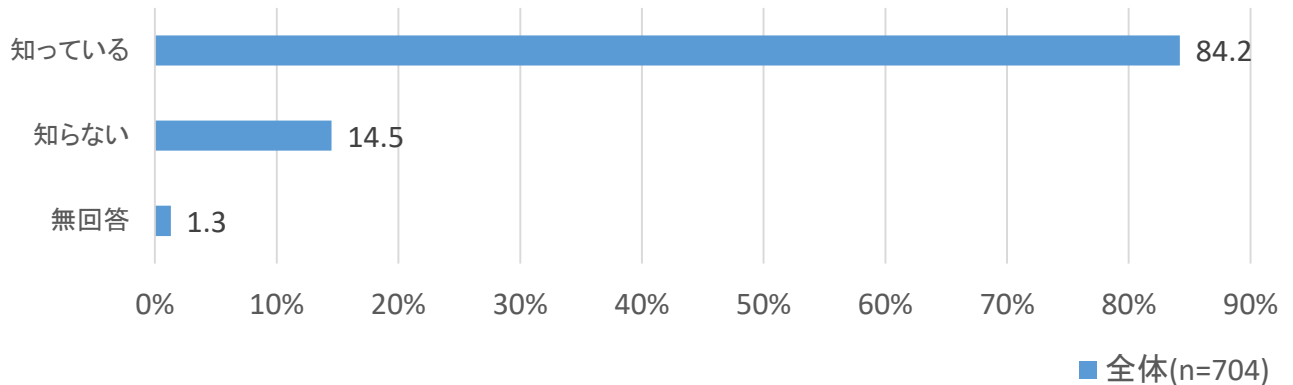
年代	全体抽出・回答数・回収率			年代別性別回答数				男女別回答数	
	抽出数	回答数	回収率	女性	男性	その他	無回答	女性比率	男性比率
10歳代	21人	8人	38.1%	3人	5人	0人	0人	37.5%	62.5%
20歳代	109人	18人	16.5%	11人	7人	0人	0人	61.1%	38.9%
30歳代	211人	57人	27.0%	27人	29人	0人	1人	48.2%	51.8%
40歳代	333人	112人	33.6%	59人	52人	0人	1人	53.2%	46.8%
50歳代	443人	141人	31.8%	78人	63人	0人	0人	55.3%	44.7%
60~64歳	434人	168人	38.7%	95人	71人	0人	2人	57.2%	42.8%
70歳以上	449人	177人	39.4%	101人	75人	0人	1人	57.4%	42.6%
無回答	—	23人	—	2人	0人	1人	20人	100.0%	0.0%
合計	2000人	704人	—	376人	302人	1人	25人	—	—

回答者の性別・年代について



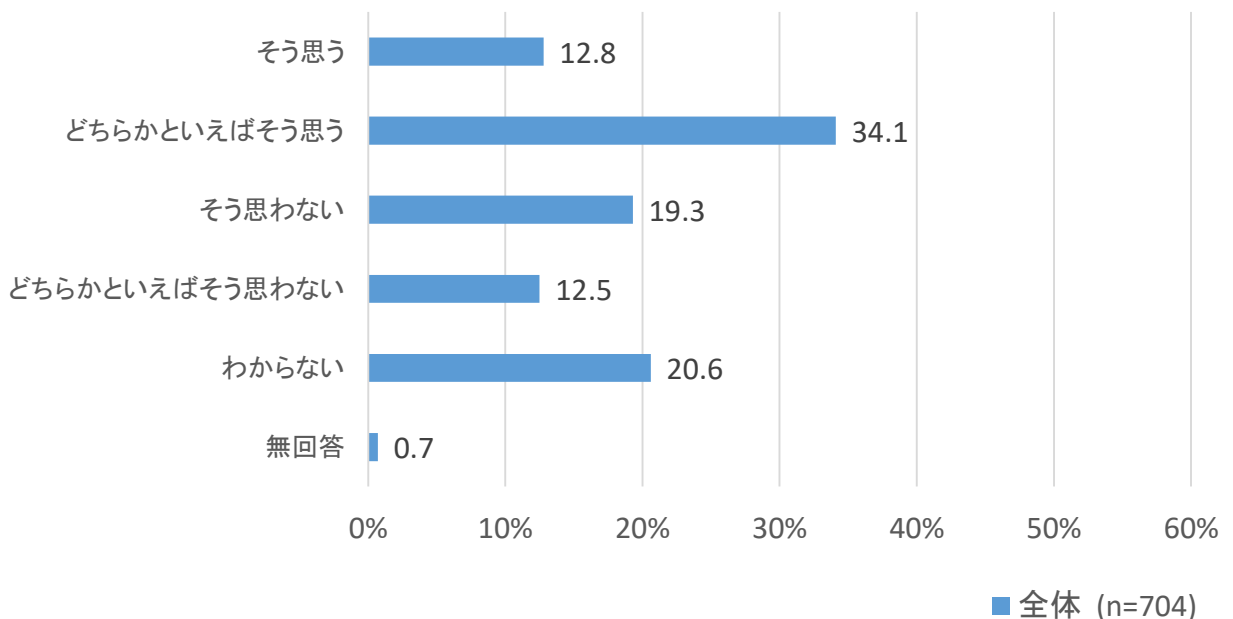
1 人権全般について

問1. あなたは、基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか。(〇は1つ)



基本的人権が侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っているかどうかについては、「知っている」84.2%、「知らない」14.5%となっている。

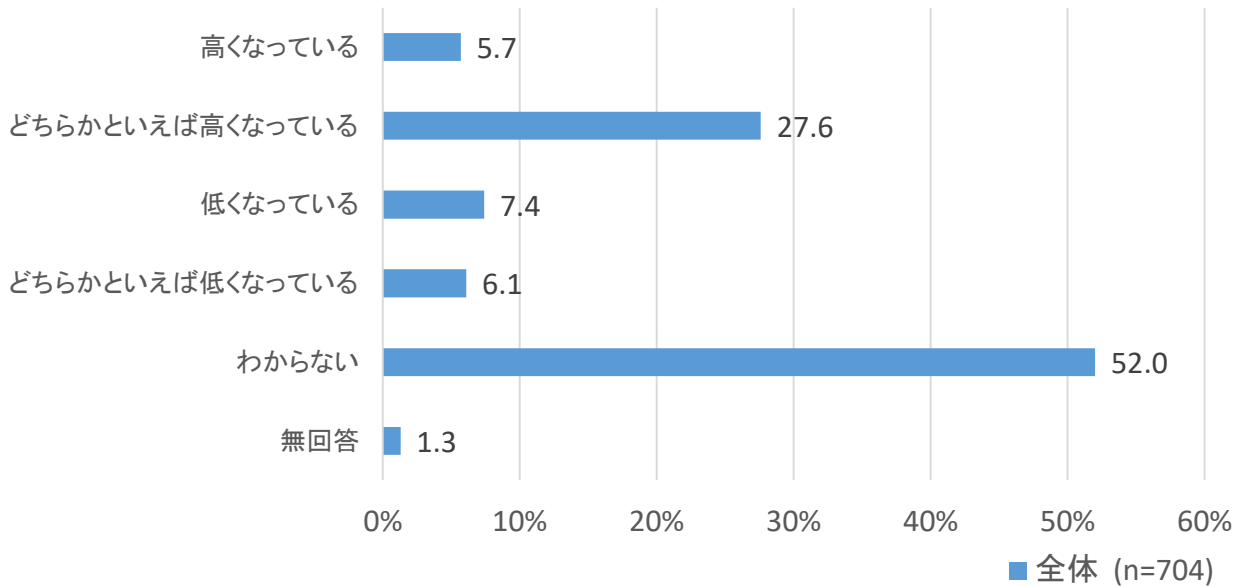
問2. 室戸市は、「市民一人ひとりの人権が尊重されているまち」であると思いますか。(〇は1つ)



室戸市は市民一人ひとりの人権が尊重されているまちであると思うかについて、「どちらかといえばそう思う」34.1%が最も高く、次いで「わからない」20.6%となっている。思う(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合)は46.9%、思わない(「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた割合)は31.8%で、思うと回答した割合が高かった。

1 人権全般について

問3. 市民一人ひとりの人権意識は、5～6年前に比べてどうなっていると思いますか。(〇は1つ)

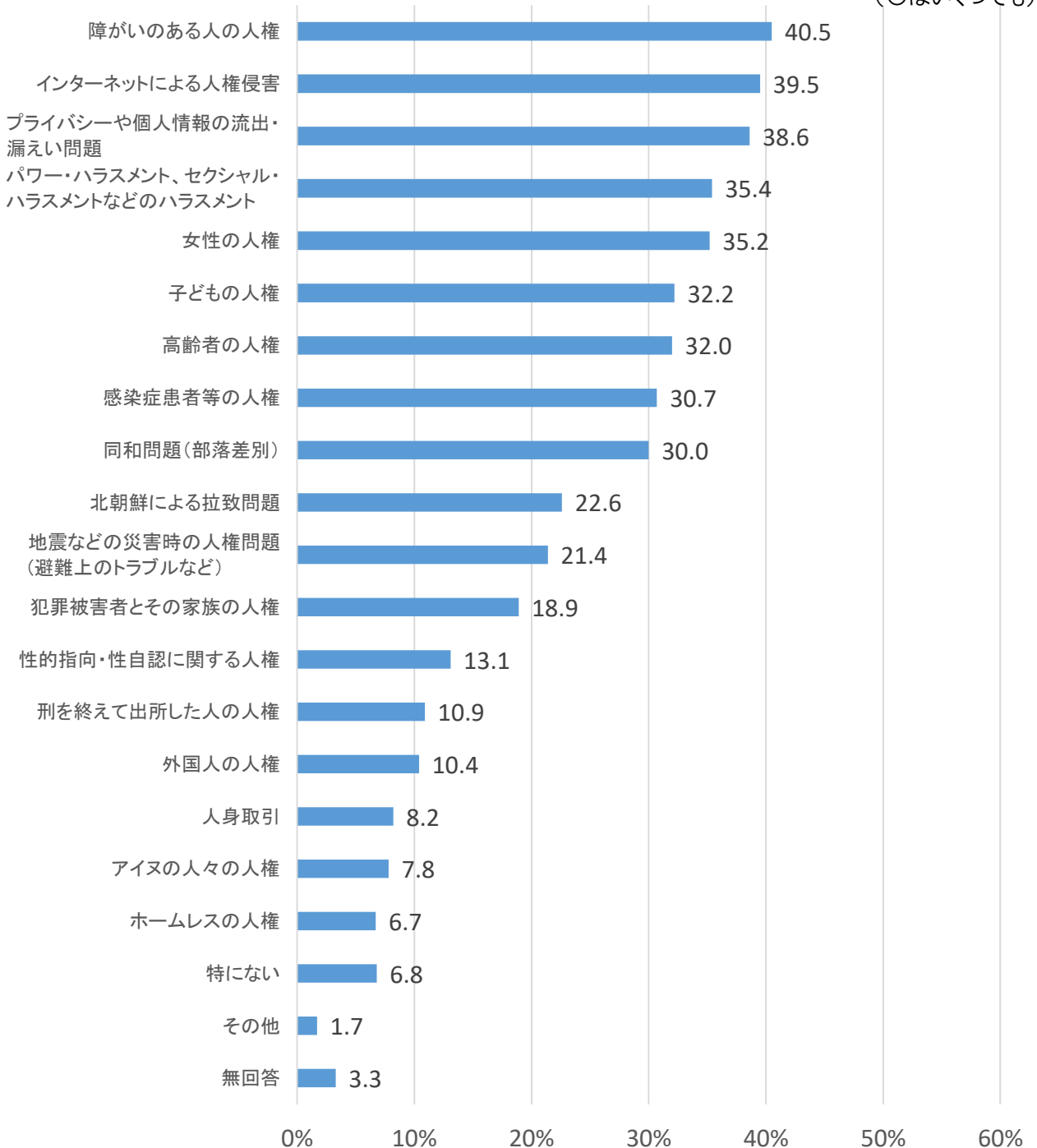


市民一人ひとりの人権意識の高まりについては、「わからない」52.0%が最も高く、次いで「どちらかといえば高くなっている」27.6%となっている。高い(「高くなっている」「どちらかといえば高くなっている」を合わせた割合)33.3%、低い(「低くなっている」「どちらかといえば低くなっている」を合わせた割合)13.5%で、高くなっている割合が高かった。

1 人権全般について

問4. 日本の社会には様々な人権問題がありますが、あなたはどのような問題に関心がありますか。

(〇はいくつでも)



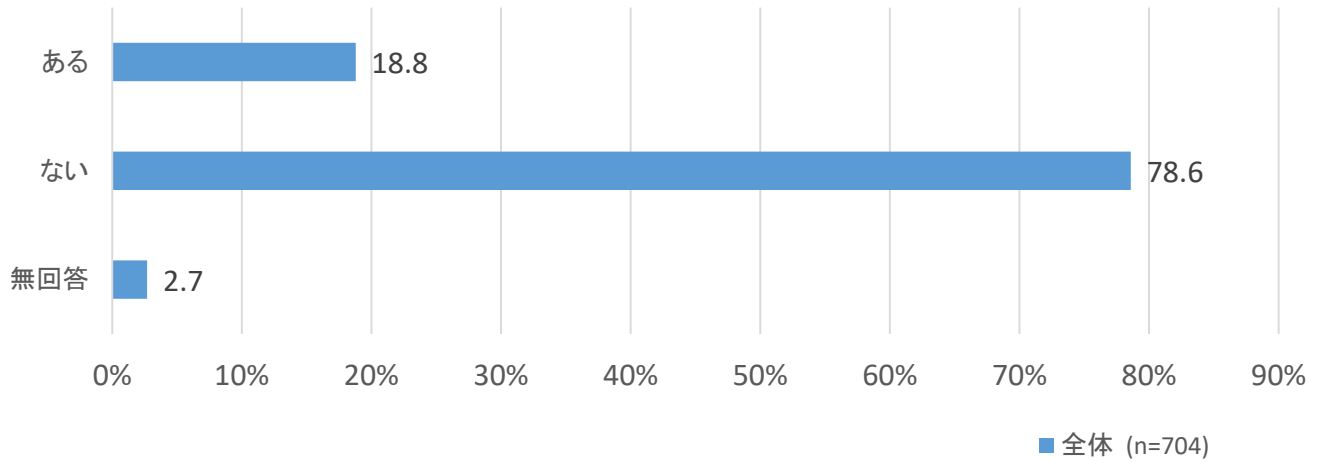
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■全体 (n=704)

関心のある人権課題について、「障がいのある人の人権」40.5%が最も高く、次いで「インターネットによる人権侵害」39.5%、「プライバシーや個人情報の流出・漏えい問題」38.6%の順となっている。

1 人権全般について

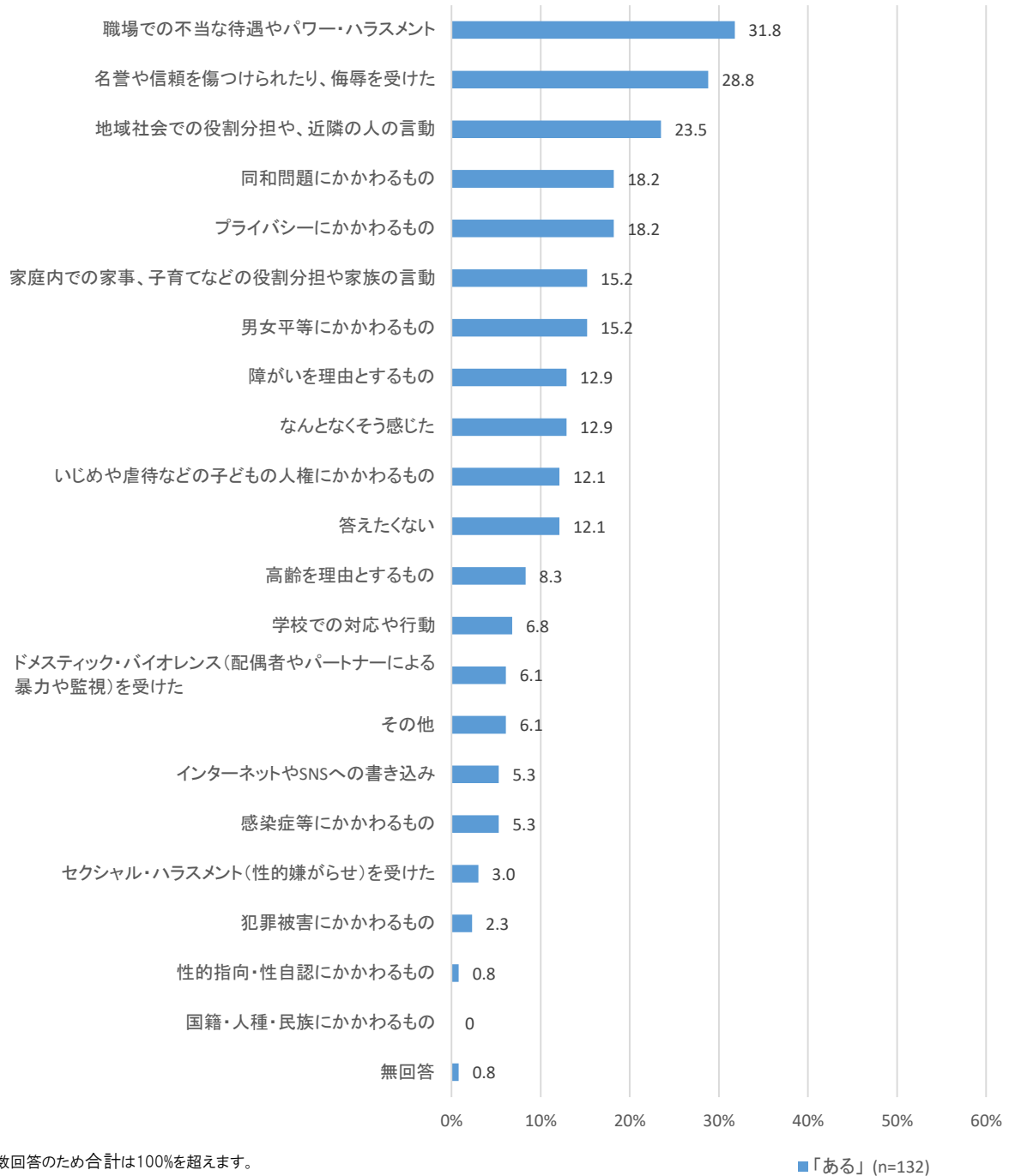
問5. あなたは、過去5年くらいの間に、あなた自身やご家族が差別や人権侵害を受けたと感じたことはありますか。(〇は1つ)



ご自身やご家族が差別や人権侵害を受けたと感じたことについて、「ない」78.6%、「ある」18.8%の順となっている。

1 人権全般について

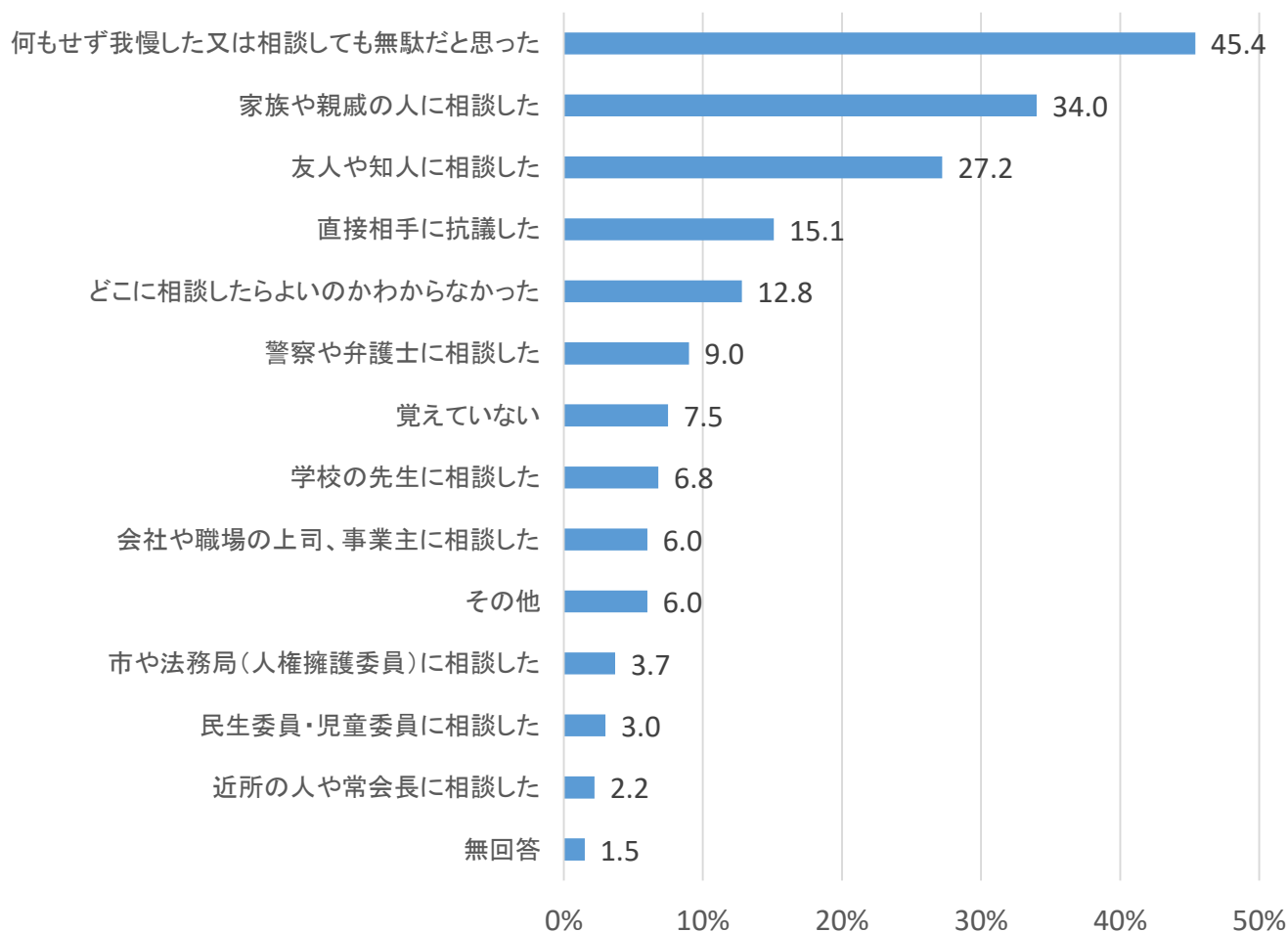
問6. 問5で「ある」と回答された方にお聞きします。差別や人権侵害を受けたと感じたことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)



差別や人権侵害を受けたと感じたことについて、「職場での不当な待遇やパワー・ハラスメント」31.8%が最も高く、次いで「名誉や信頼を傷つけられたり、侮辱を受けた」28.8%、「地域社会での役割分担や、近隣の人の言動」23.5%の順となっている。

1 人権全般について

問7. 問5で「ある」と回答された方にお聞きします。その時あなたは、どうしましたか。(〇はいくつでも)



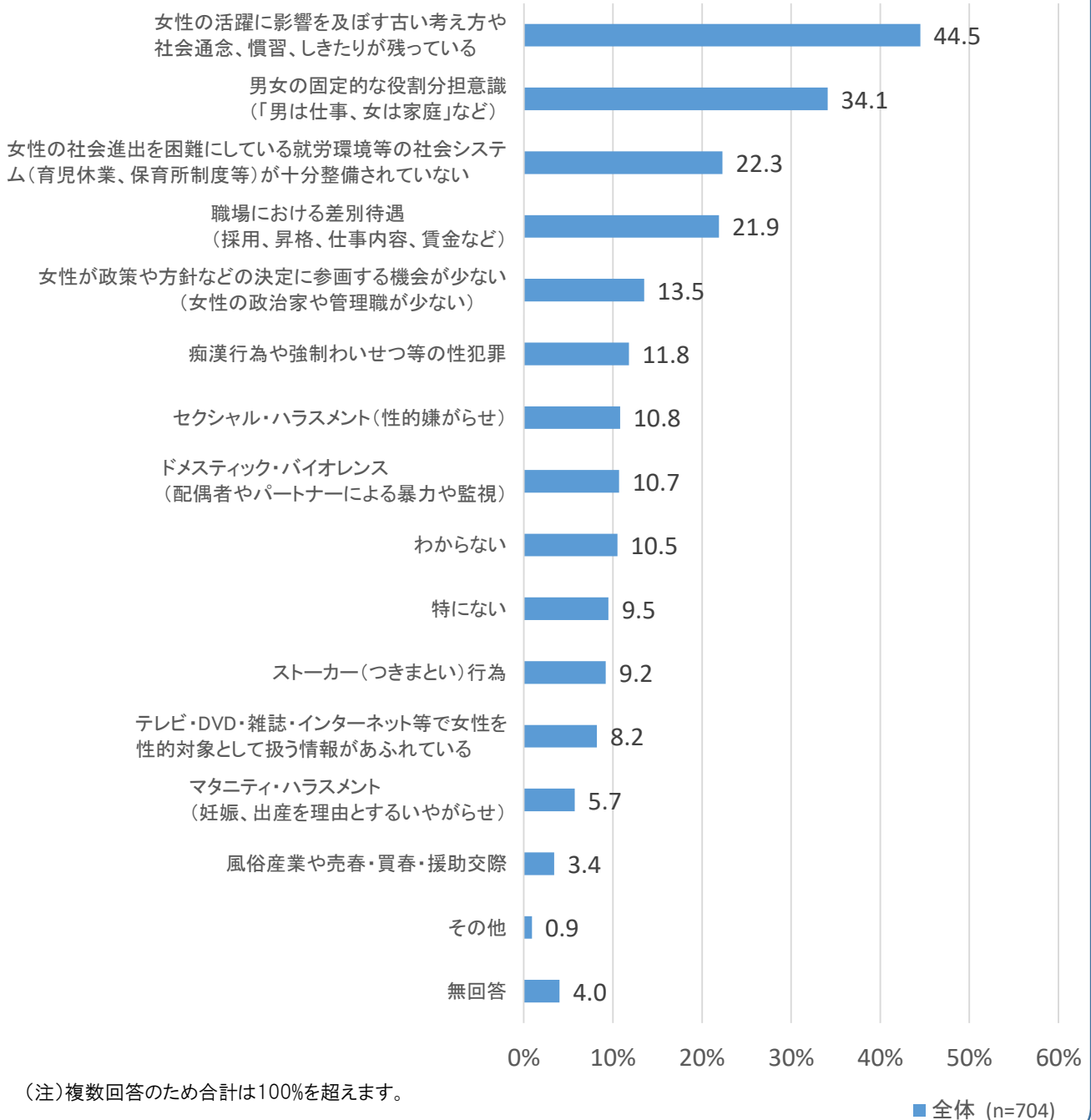
(注)複数回答のため合計は18.8%('ある'の回答率)を超えます。

■「ある」(n=132)

差別や人権侵害を受けたと感じた時どうしたかについて、「何もせず我慢した又は相談しても無駄だと思った」45.4%が最も高く、次いで「家族や親戚の人に相談した」34.0%、「友人や知人に相談した」27.2%の順となっている。

2 女性の人権について

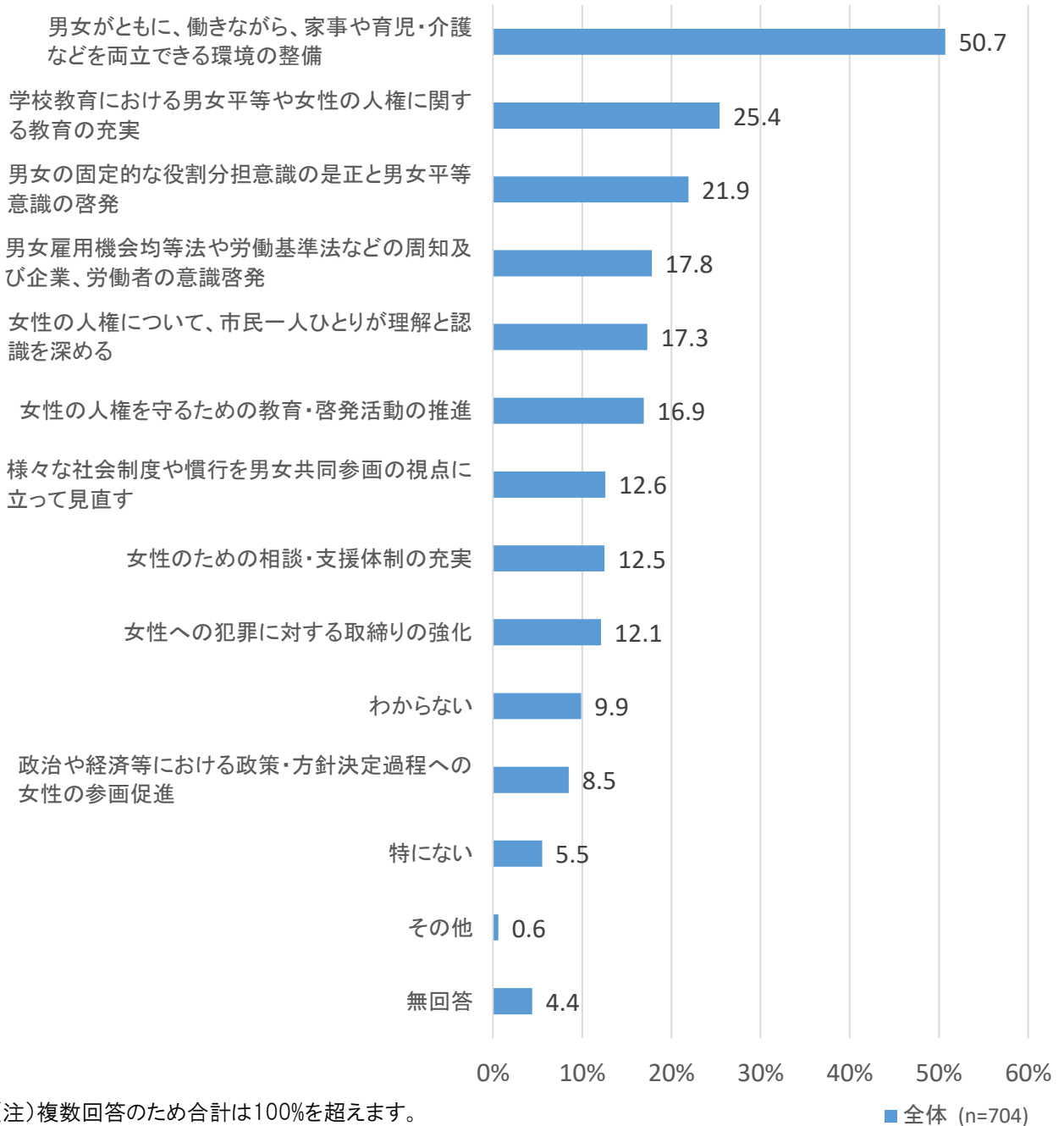
問8. あなたは、女性の人権が尊重されていないと思うのはどのようなことですか。(○は3つまで)



女性の人権が尊重されていないと思うことについて、「女性の活躍に影響を及ぼす古い考え方や社会通念、慣習、しきたりが残っている」44.5%が最も高く、次いで「男女の固定的な役割分担意識」34.1%、「女性の社会進出を困難にしている就労環境等の社会システム(育児休業、保育所制度等)が十分整備されていない」22.3%の順となっている。

2 女性の人権について

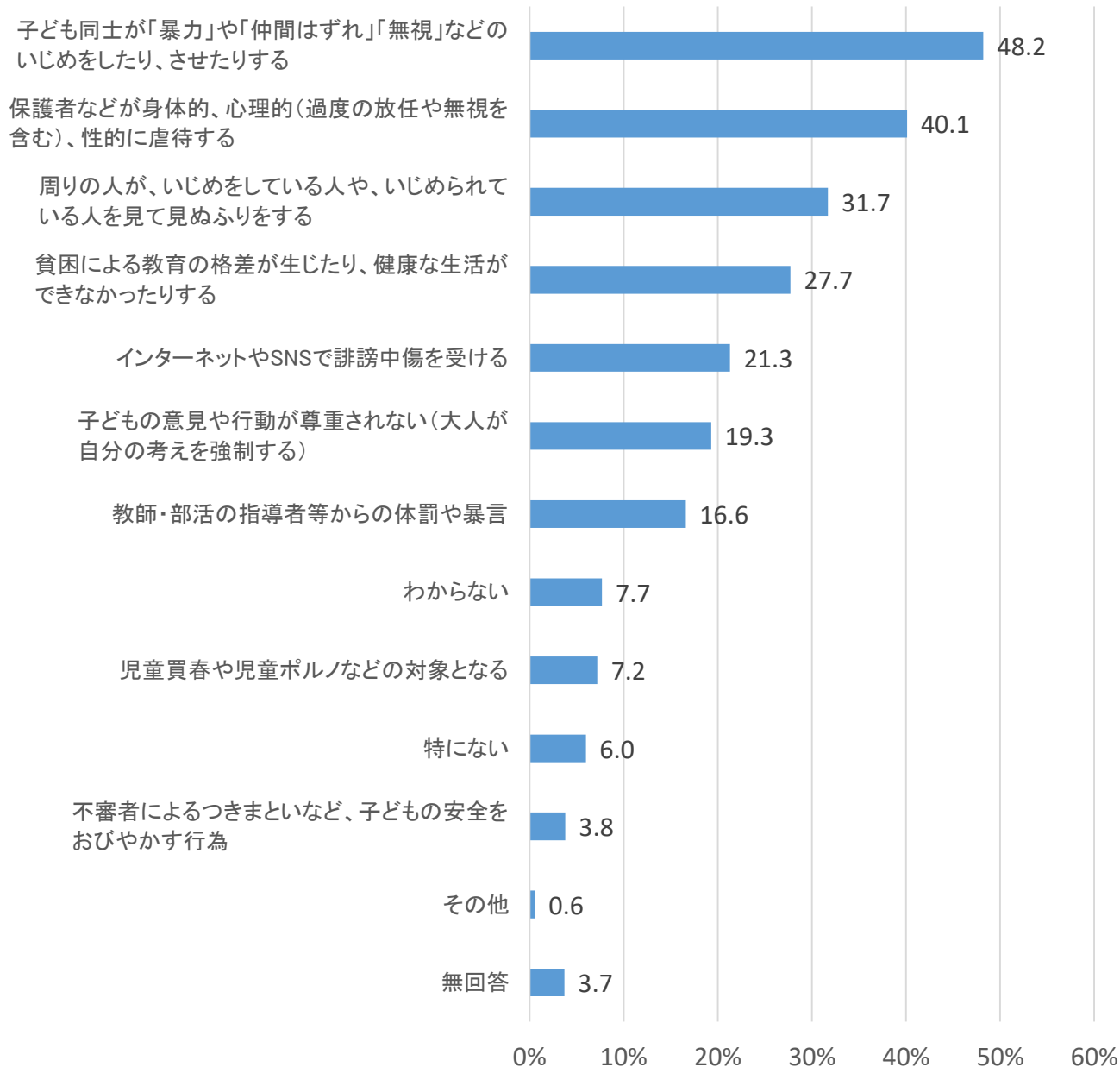
問9. 女性の人権を守るために、必要なことはどのようなことだと思いますか。(○は3つまで)



女性の人権を守るために必要だと思うことについて、「男女がともに、働きながら、家事や育児・介護などを両立できる環境の整備」50.7%が最も高く、次いで「学校教育における男女平等や女性の人権に関する教育の充実」25.4%、「男女の固定的な役割分担意識の是正と男女平等意識の啓発」21.9%の順となっている。

3 子どもの人権について

問10. あなたは、子どもの人権が尊重されていないと思うものはどのようなことですか。(〇は3つまで)



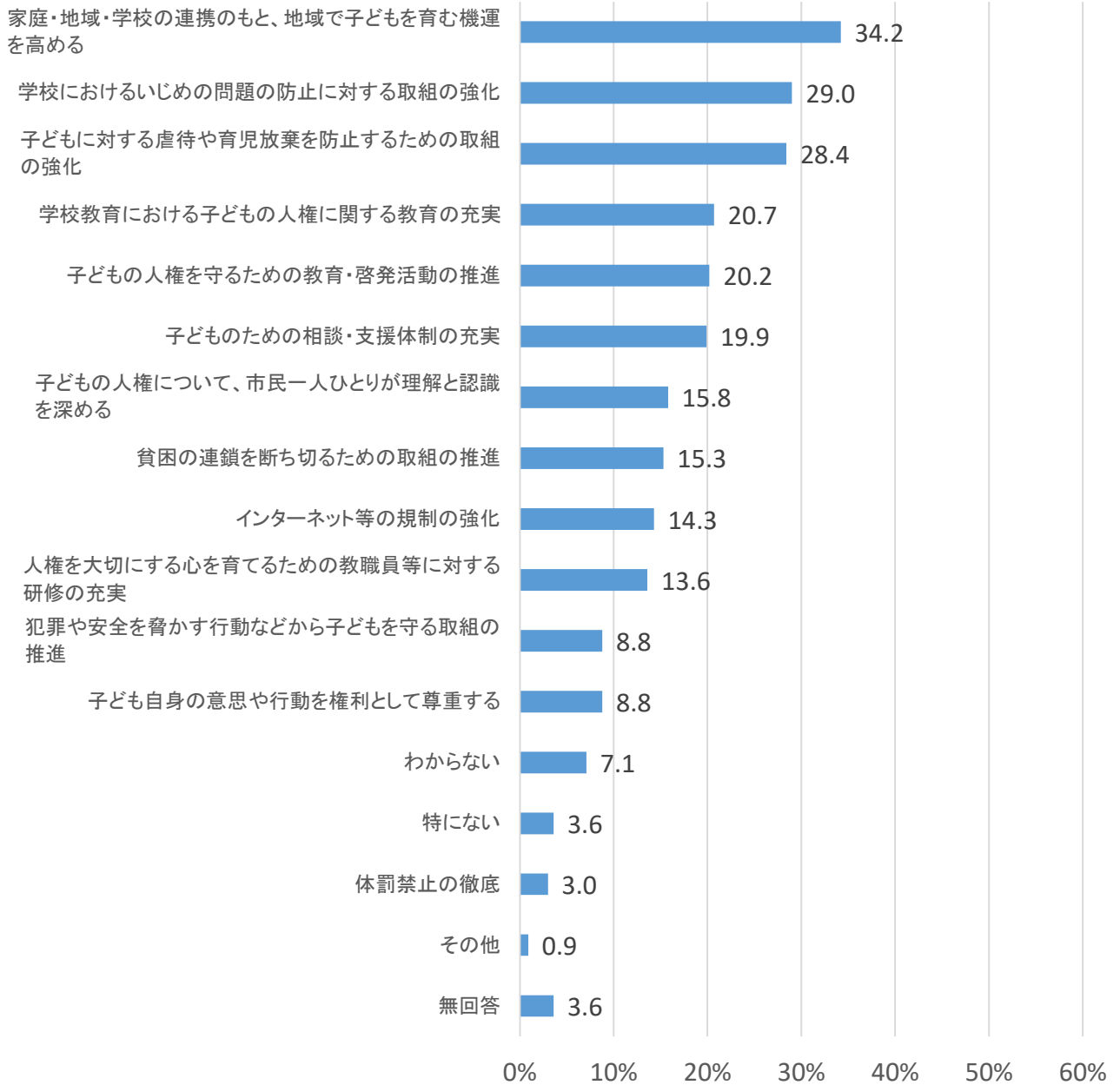
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

子どもの人権が尊重されていないと思うことについて、「子ども同士が「暴力」や「仲間はずれ」「無視」などのいじめをしたり、させたりする」48.2%が最も高く、次いで「保護者などが身体的、心理的(過度の放任や無視を含む)、性的に虐待する」40.1%、「周りの人が、いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをする」31.7%の順となっている。

3 子どもの人権について

問11. 子どもの人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)



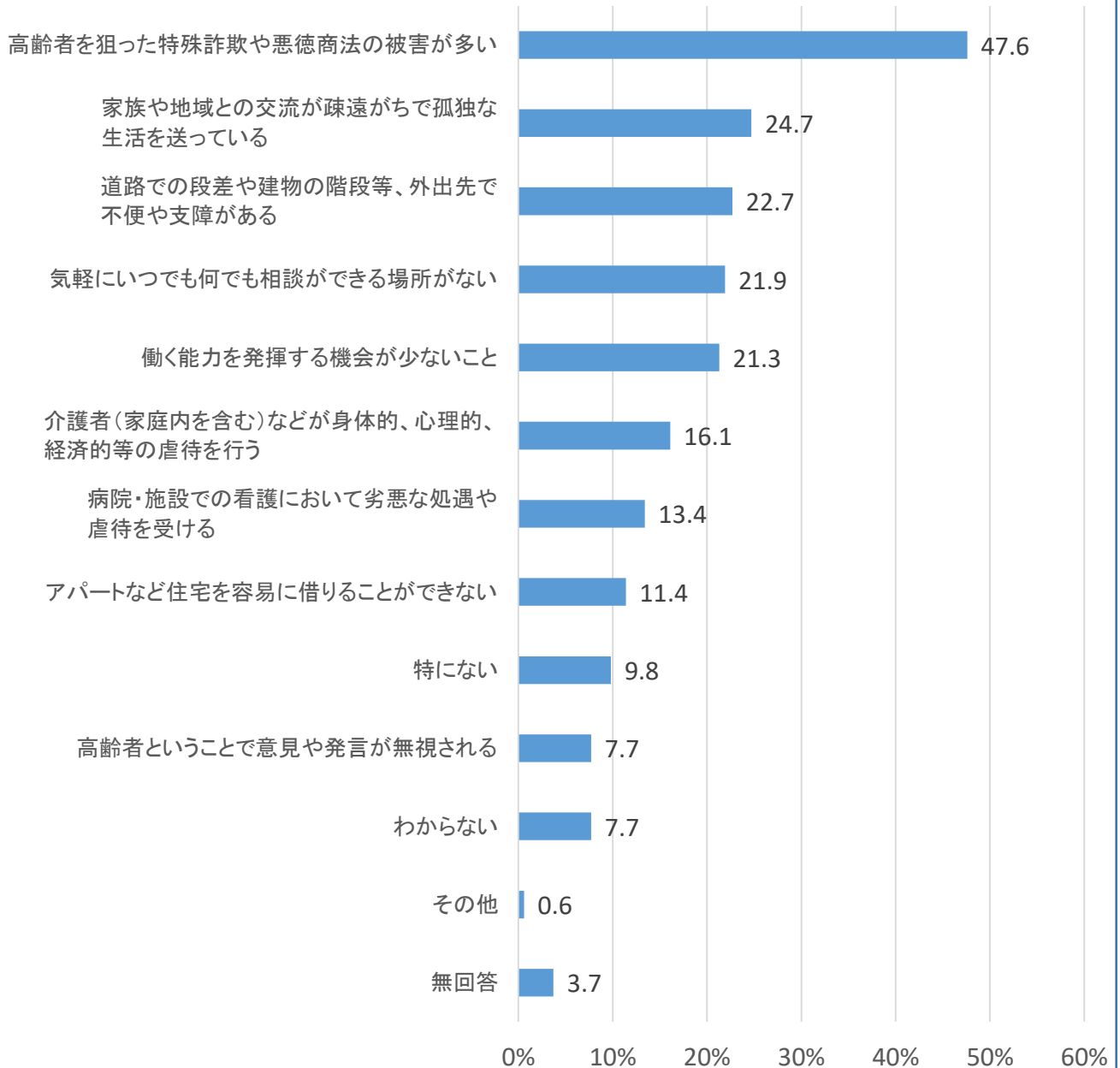
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

子どもの人権を守るために必要だと思うことについて、「家庭・地域・学校の連携のもと、地域で子どもを育む機運を高める」34.2%が最も高く、次いで「学校におけるいじめの問題の防止に対する取組の強化」29.0%、「子どもに対する虐待や育児放棄を防止するための取組の強化」28.4%の順となっている。

4 高齢者の人権について

問12. あなたは、高齢者の人権が尊重されていないと思うのはどのようなことですか。(○は3つまで)



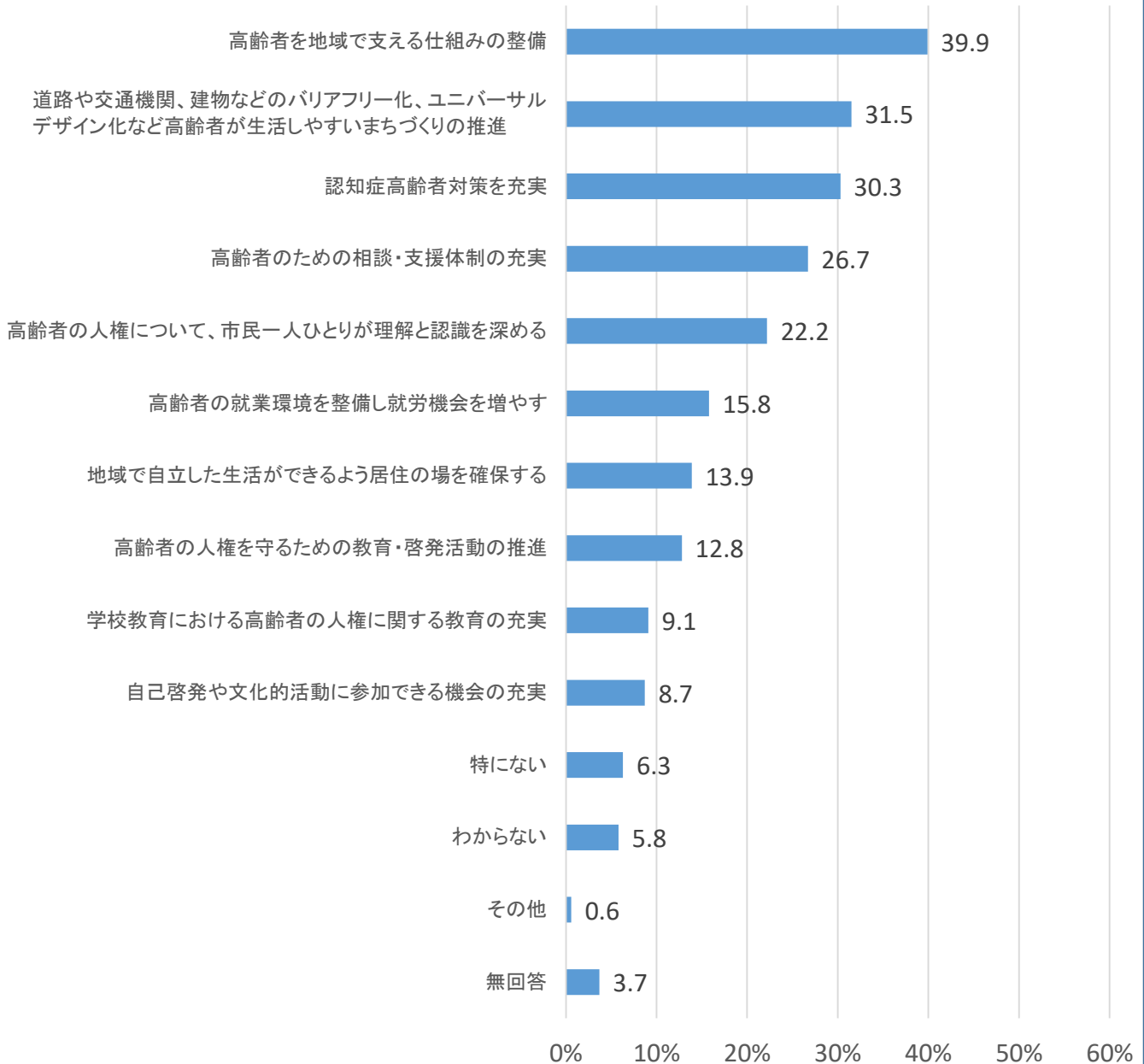
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

高齢者の人権が尊重されていないと思うことについて、「高齢者を狙った特殊詐欺や悪徳商法の被害が多い」47.6%が最も高く、次いで「家族や地域との交流が疎遠がちで孤独な生活を送っている」24.7%、「道路での段差や建物の階段等、外出先で不便や支障がある」22.7%の順となっている。

4 高齢者の人権について

問13. 高齢者の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)



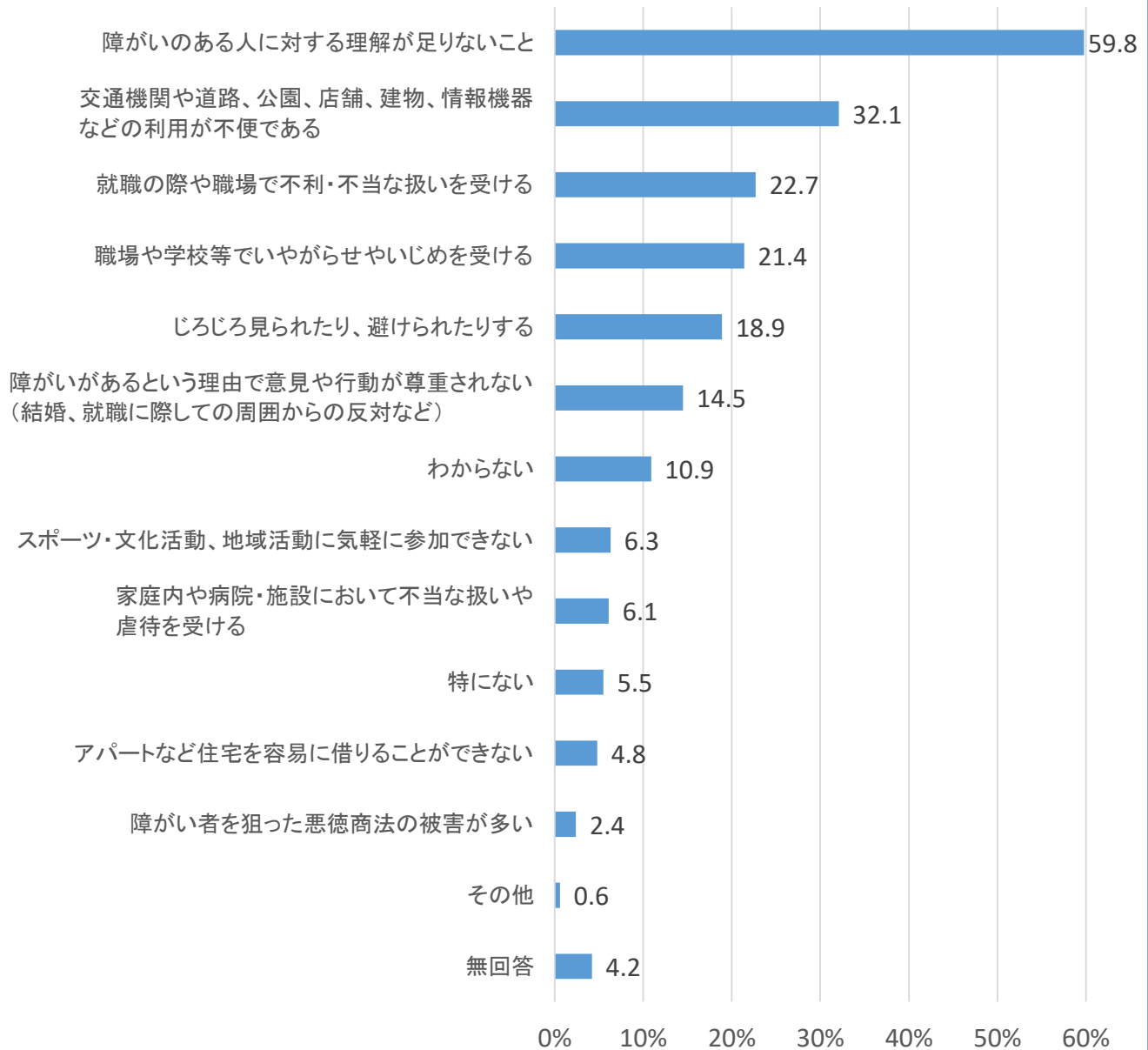
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■全体 (n=704)

高齢者の人権を守るために必要だと思うことについて、「高齢者を地域で支える仕組みの整備」39.9%の割合が最も高く、次いで「道路や交通機関、建物などのバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など高齢者が生活しやすいまちづくりの推進」31.5%、「認知症高齢者対策を充実」30.3%の順となっている。

5 障がいのある方の人権について

問14. あなたは、障がいのある方の人権が尊重されていないと思うのはどのようなことですか。(○は3つまで)



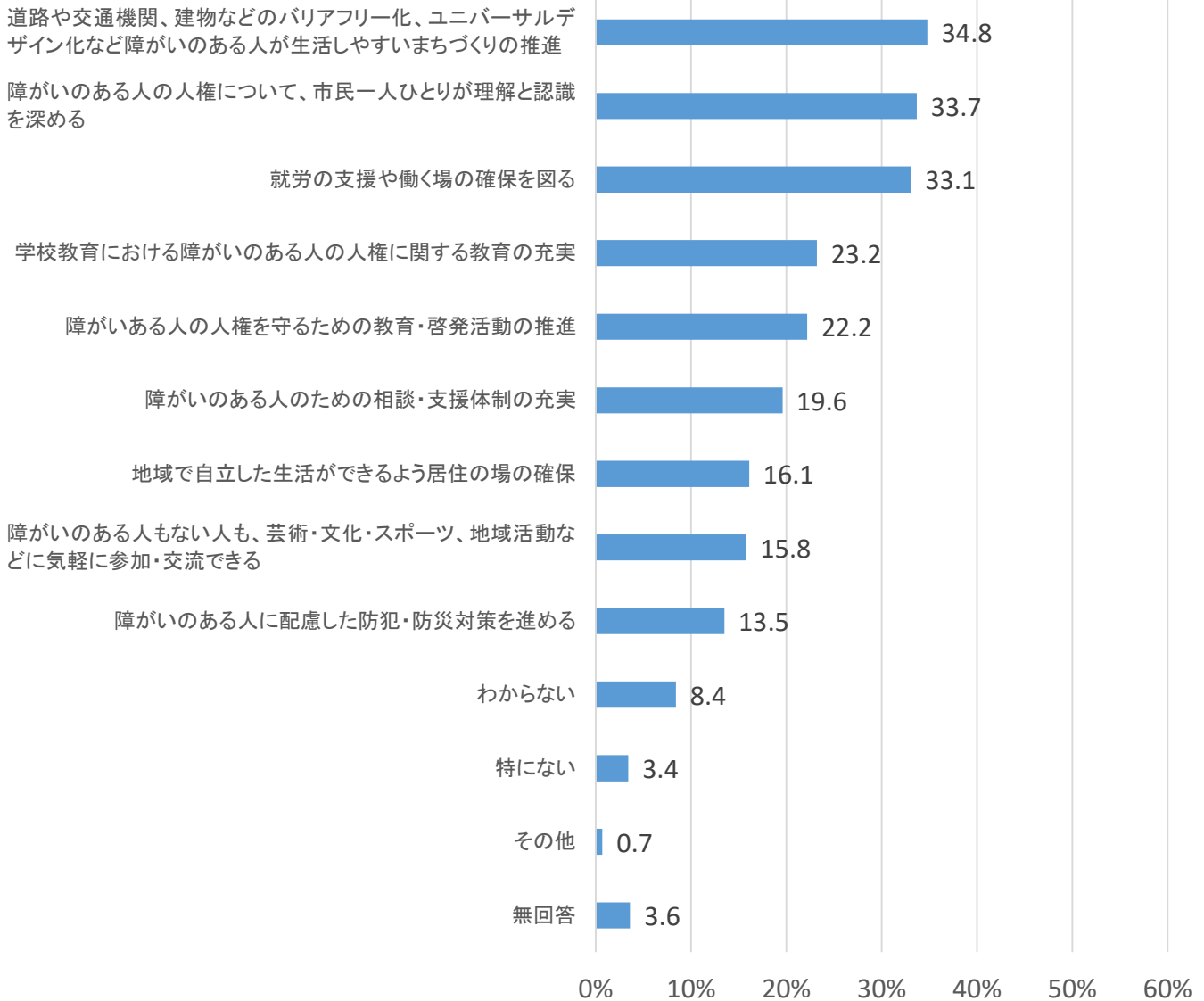
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

障害のある方の人権が尊重されていないと思うことについて、「障がいのある人に対する理解が足りないこと」59.8%が最も高く、次いで「交通機関や道路、公園、店舗、建物、情報機器などの利用が不便である」32.1%、「就職の際や職場で不利・不当な扱いを受ける」22.7%の順となっている。

5 障がいのある方の人権について

問15. 障がいのある人の人権を守るために、必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)



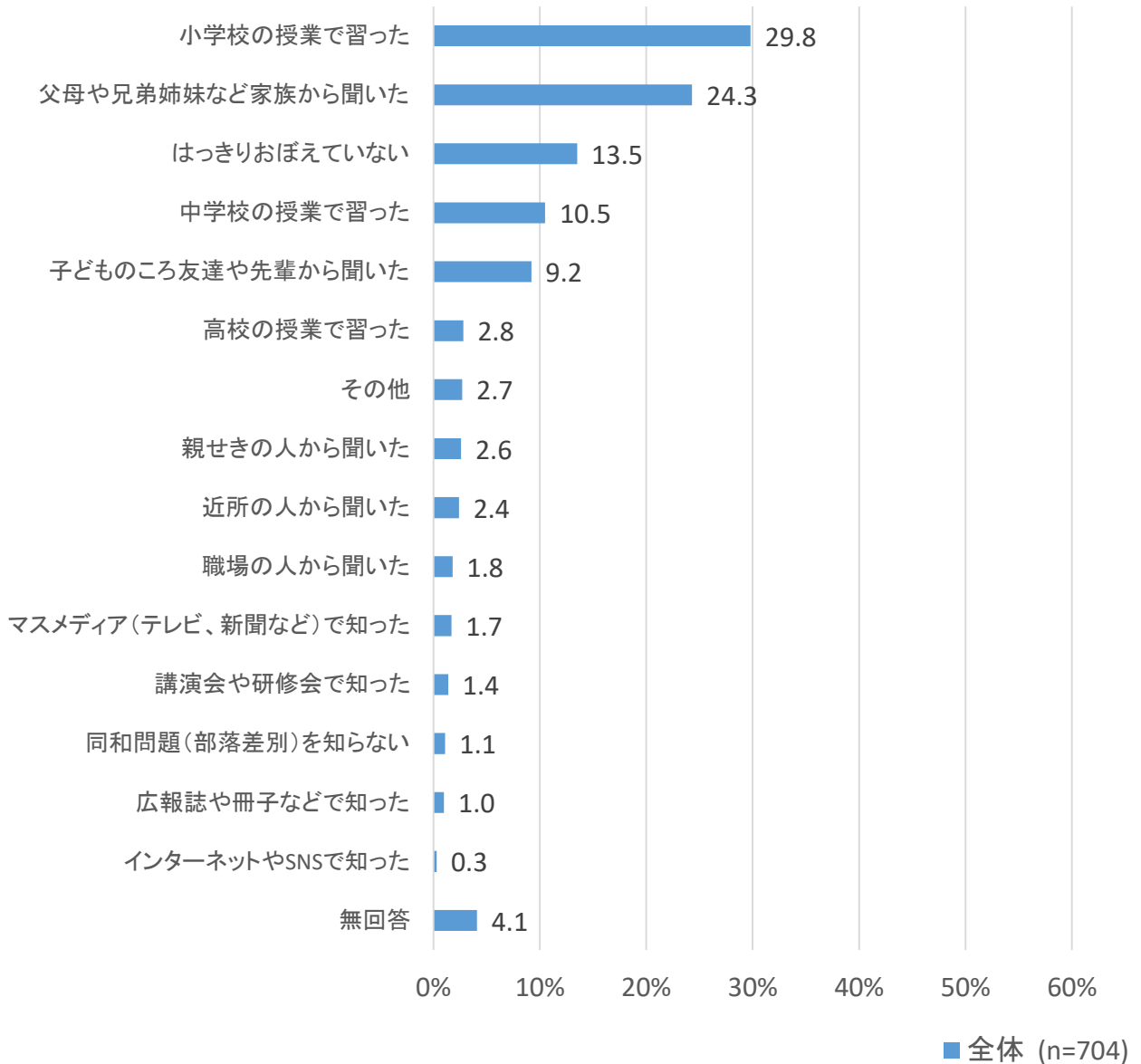
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

障がいのある方の人権を守るために必要だと思うことについて、「道路や交通機関、建物などのバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化など障がいのある人が生活しやすいまちづくりの推進」34.8%が最も高く、次いで「障がいのある人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」33.7%、「就労の支援や働く場の確保を図る」33.1%の順となっている。

6 同和問題(部落差別)について

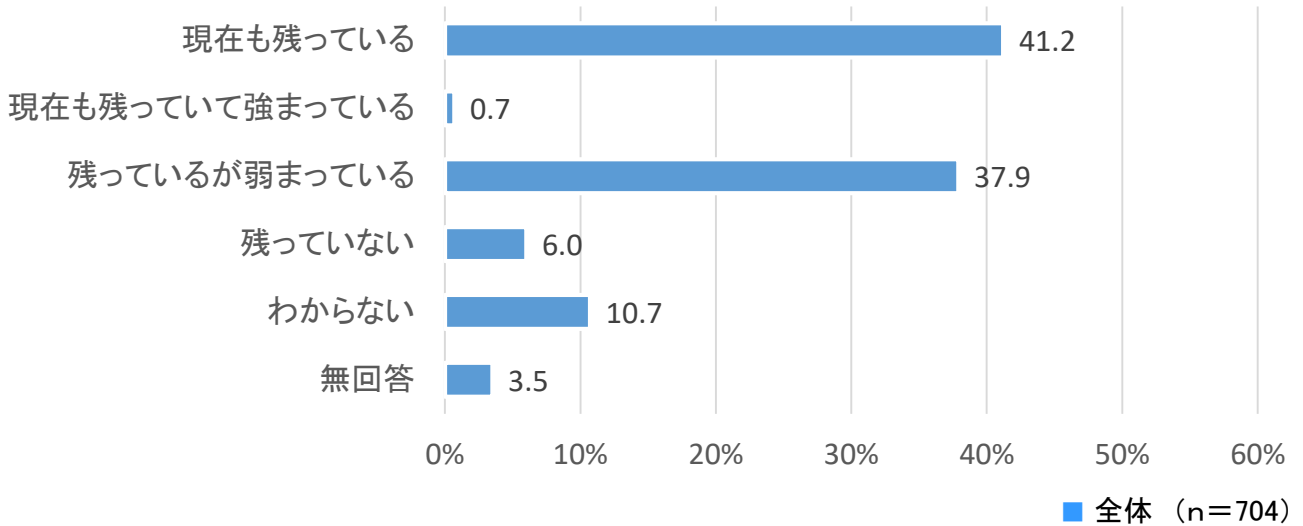
問16. あなたが、同和問題(部落差別)を初めて知ったのは、どのようなことからですか。(○は1つ)



同和問題を初めて知った機会について、「小学校の授業で習った」29.8%が最も高く、次いで「父母や兄弟姉妹など家族から聞いた」24.3%、「はっきりおぼえていない」13.5%の順となっている。小・中・高を合わせると43.1%となり、半数近くが人権教育として教育現場で習っている。

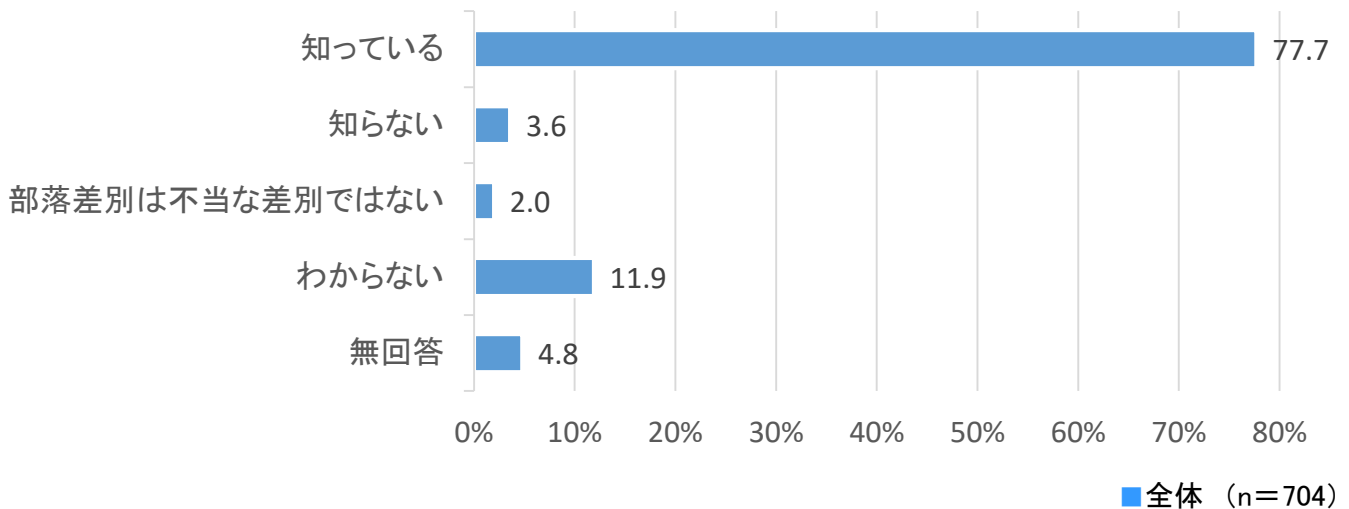
6 同和問題(部落差別)について

問17. 社会の中に同和問題(部落差別)に関する差別意識や偏見が、現在も残っていると思いますか。
(○は1つ)



同和問題(部落差別)に関する差別意識や偏見が、現在も残っているかについて、「残っている」41.2%が最も高く、次いで「残っているが弱まっている」37.9%、「現在も残っていて強まっている」0.7%を合わせると、現在も残っていると思っている割合が79.8%となっている。

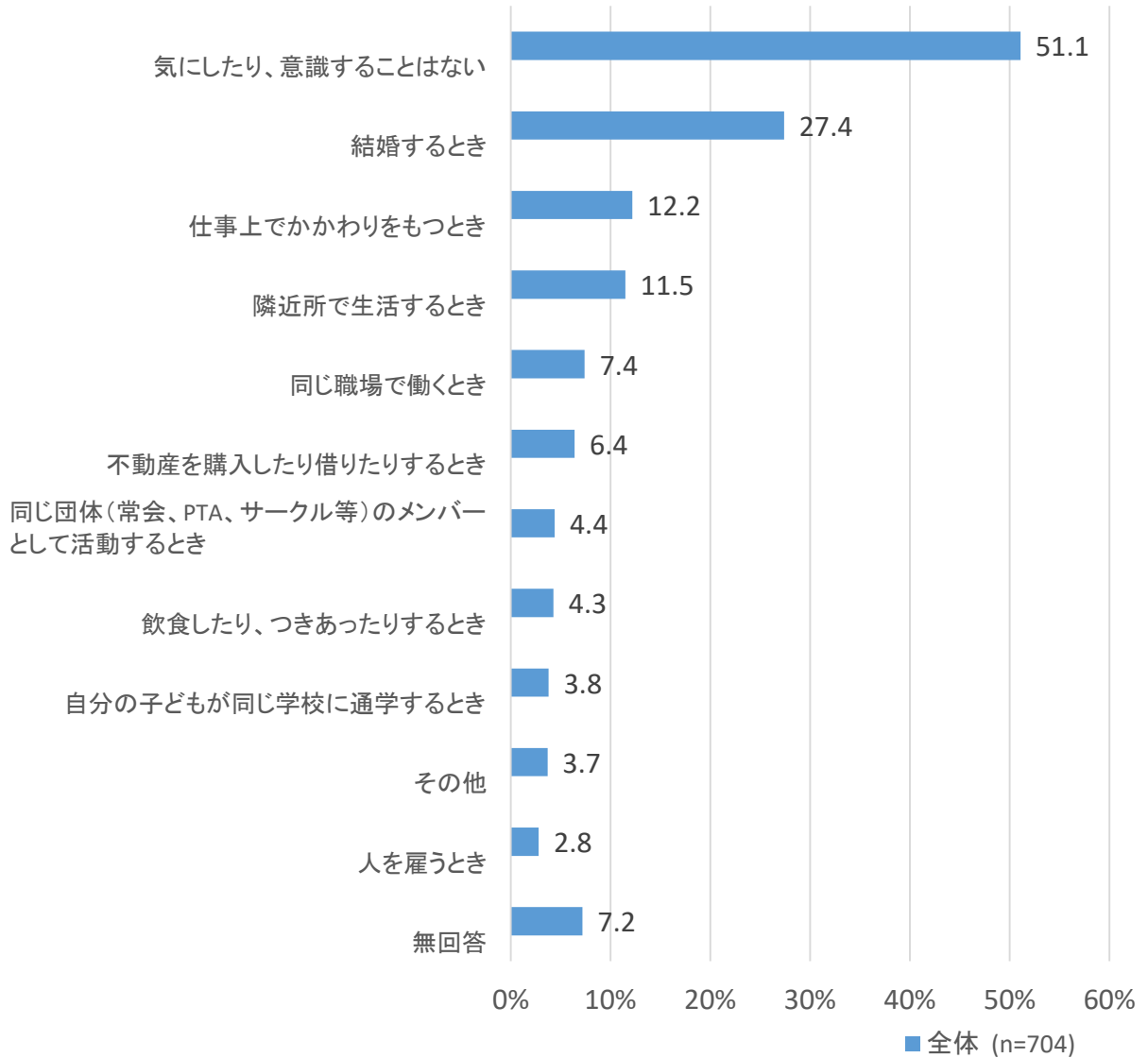
問18. 同和問題(部落差別)は不当な差別であると知っていますか。(○は1つ)



同和問題(部落差別)は不当な差別であると知っているかについて、「知っている」77.7%が最も高く、次いで「わからない」11.9%の順となっている。部落差別は不当な差別ではないとする回答も2.0%あった。

6 同和問題(部落差別)について

問19. 同和地区や同和地区出身者ということを気にしたり、意識したりすることはありますか。(〇はいくつでも)

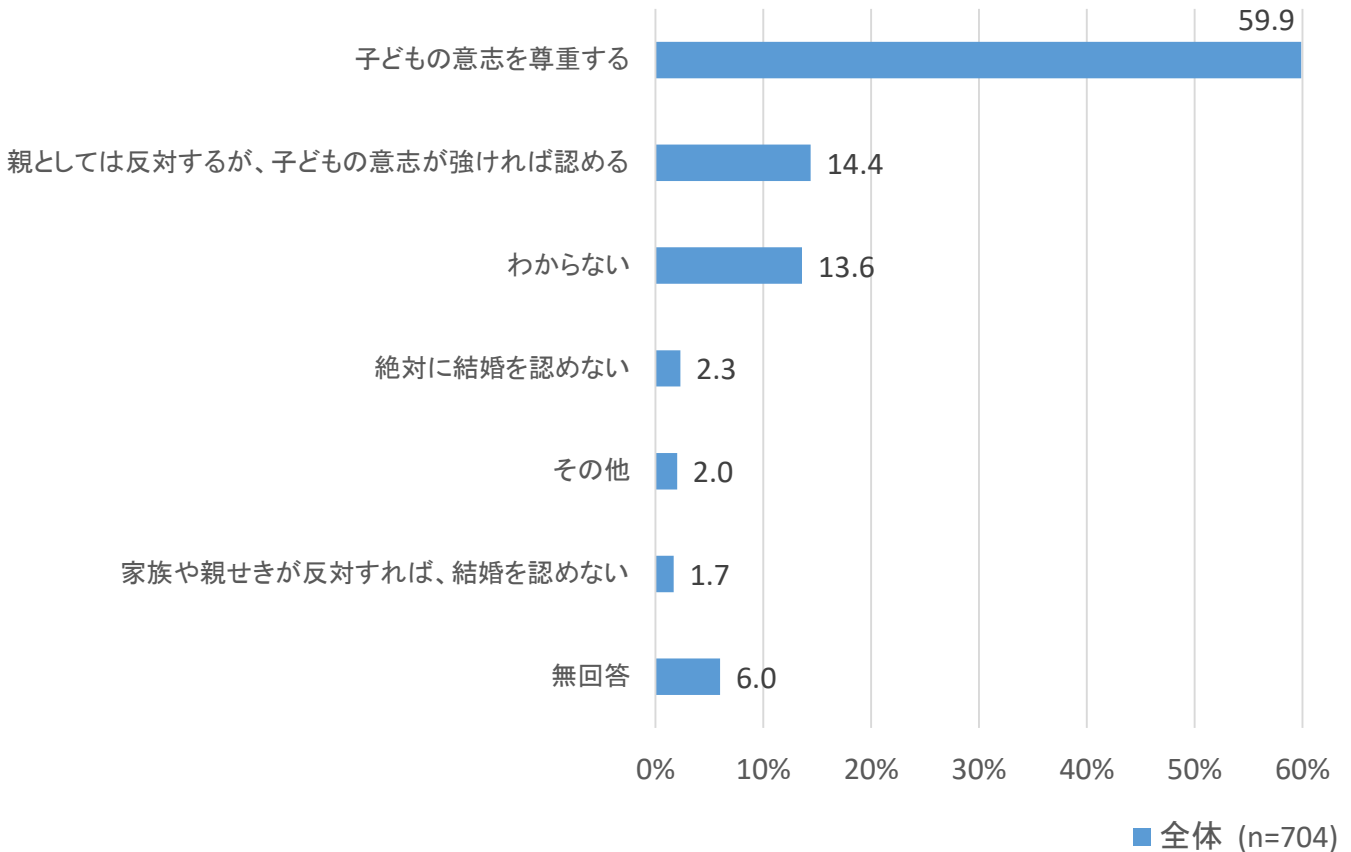


(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

同和地区や同和地区出身者ということを気にしたり、意識したりすることはあるかについて、「気にしたり、意識することはない」51.1%が最も高く、次いで「結婚するとき」27.4%、「仕事上でかかわりをもつとき」12.2%等の順となっている。

6 同和問題(部落差別)について

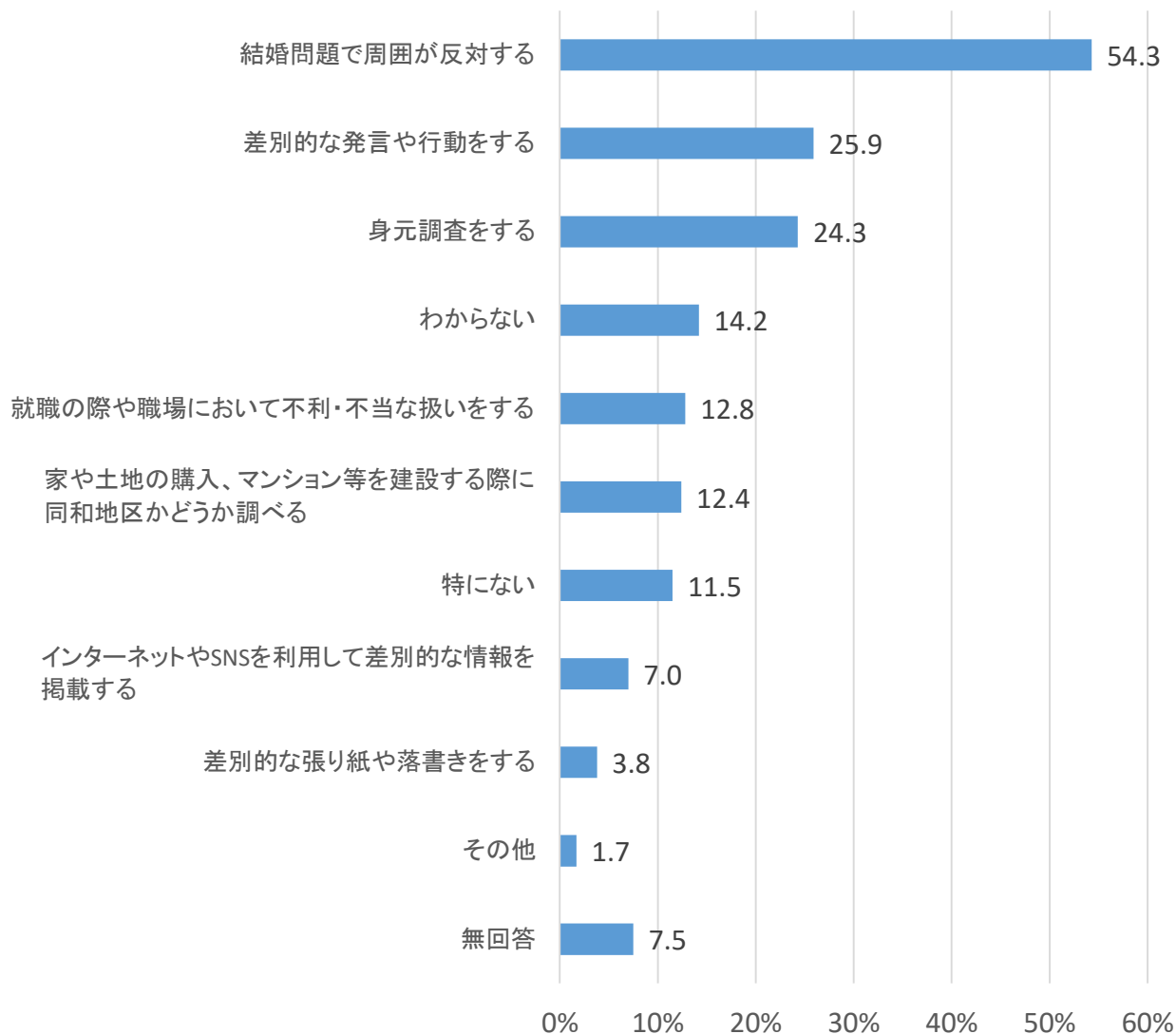
問20. あなたに子どもがいると仮定して、その子どもが結婚しようとしている相手が同和地区出身者だとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(○は1つ)



子どもの結婚相手が同和地区出身者だった場合について、「子どもの意志を尊重する」59.9%と最も高く、次いで「親としては反対するが、子どもの意志が強ければ認める」14.4%、「わからない」13.6%の順となった。認める(「子どもの意志を尊重する」「親としては反対するが、子どもの意志が強ければ認める」)が74.3%、認めない(「絶対に結婚を認めない」「家族や親せきが反対すれば、結婚を認めない」)が4%の割合となっている。

6 同和問題(部落差別)について

問21. 同和問題(部落差別)に関する事柄で、人権が尊重されていないと思うのはどのようなことですか。
(○は3つまで)



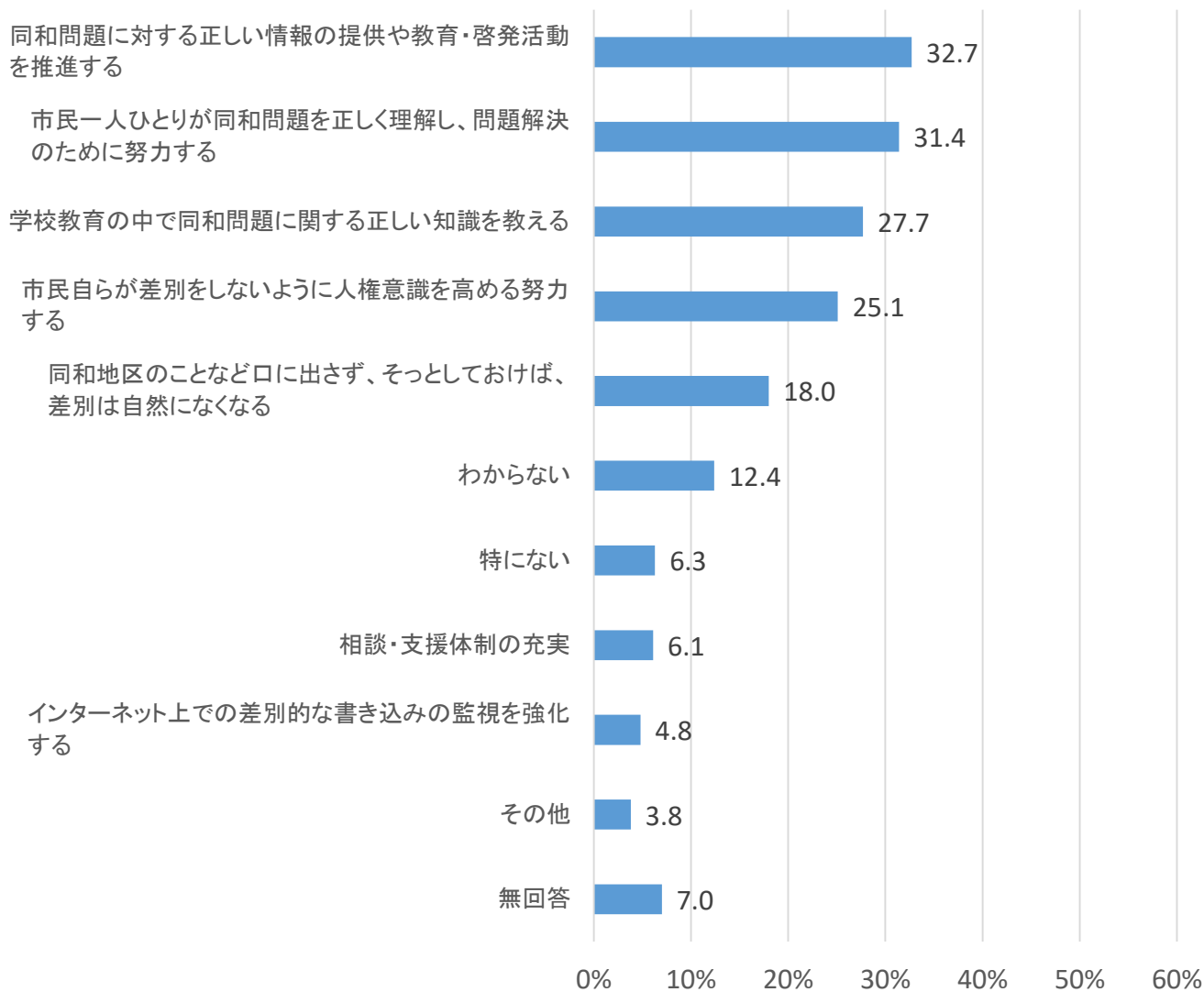
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

同和問題(部落差別)に関する事柄で人権が尊重されていないと思うことについて、「結婚問題で周囲が反対する」54.3%が最も高く、次いで「差別的な発言や行動をする」25.9%、「身元調査をする」24.3%の順となっている。

6 同和問題(部落差別)について

問22. 同和問題(部落差別)を解決するためには、どのようなことが大切だと思いますか。(〇は3つまで)



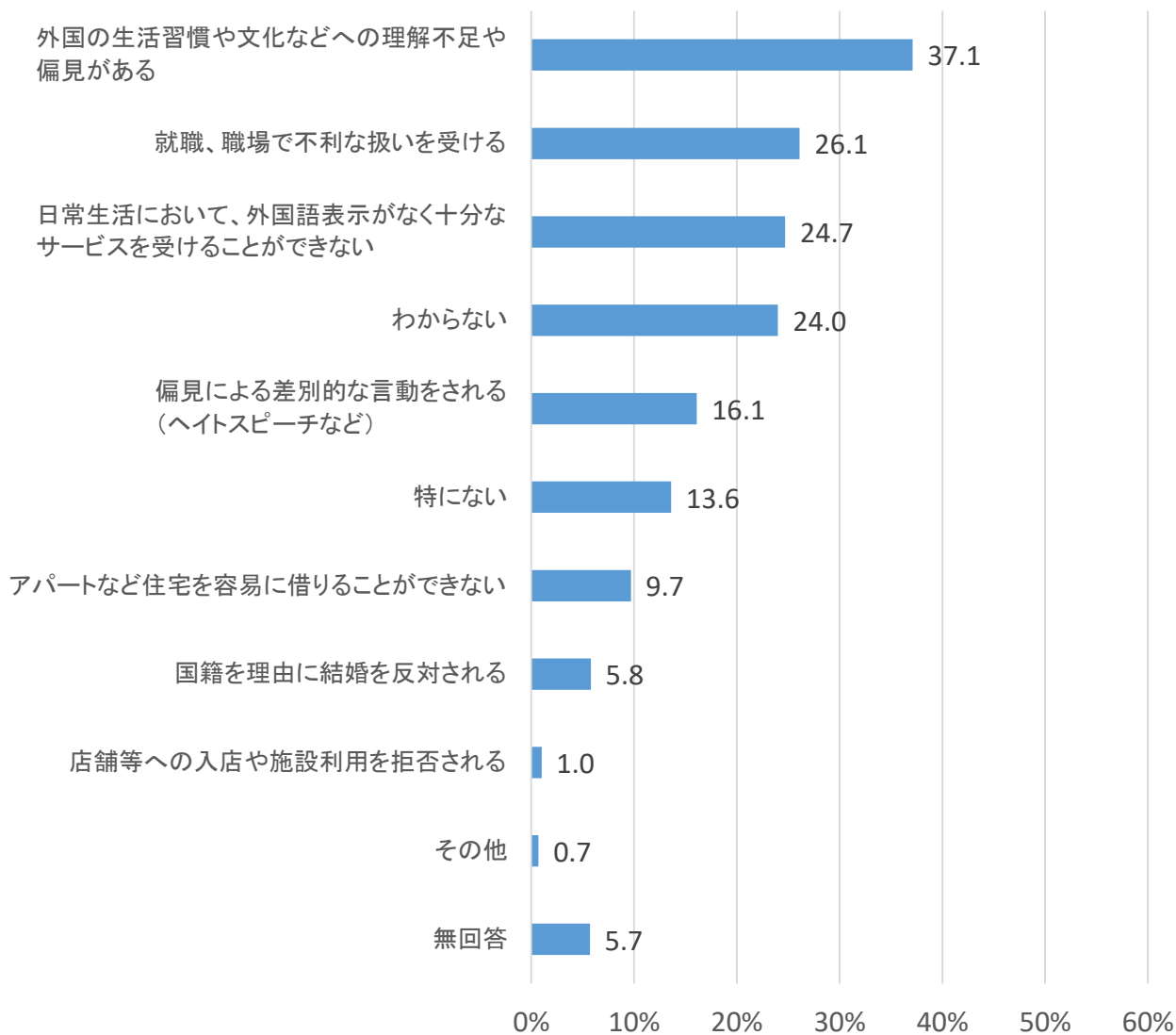
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

解決するために大切だと思うことについて、「同和問題に対する正しい情報の提供や教育・啓発活動を推進する」32.7%が最も高く、次いで「市民一人ひとりが同和問題を正しく理解し、問題解決のために努力する」31.4%、「学校教育の中で同和問題に関する正しい知識を教える」27.7%の順となっている。

7 日本に居住する外国人の人権について

問23. あなたは、日本に住む外国人の人権が尊重されていないと思うのはどのようなことですか。
(○は3つまで)



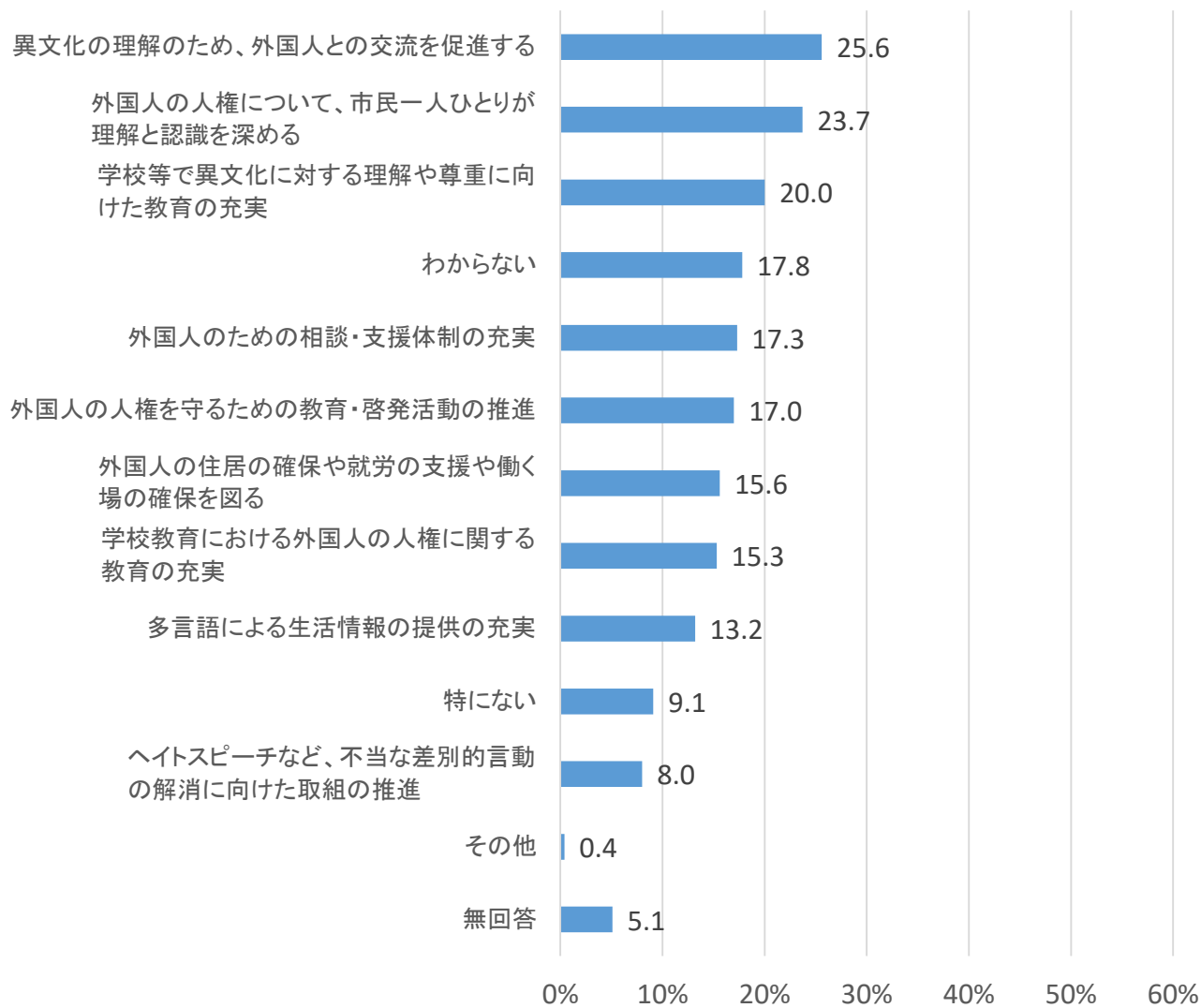
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

外国人の人権が尊重されていないと思うことについて、「外国の生活習慣や文化などへの理解不足や偏見がある」37.1%が最も高く、次いで「就職、職場で不利な扱いを受ける」26.1%、「日常生活において、外国語表示がなく十分なサービスを受けることができない」24.7%の順となっている。

7 日本に居住する外国人の人権について

問24. 外国人の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)



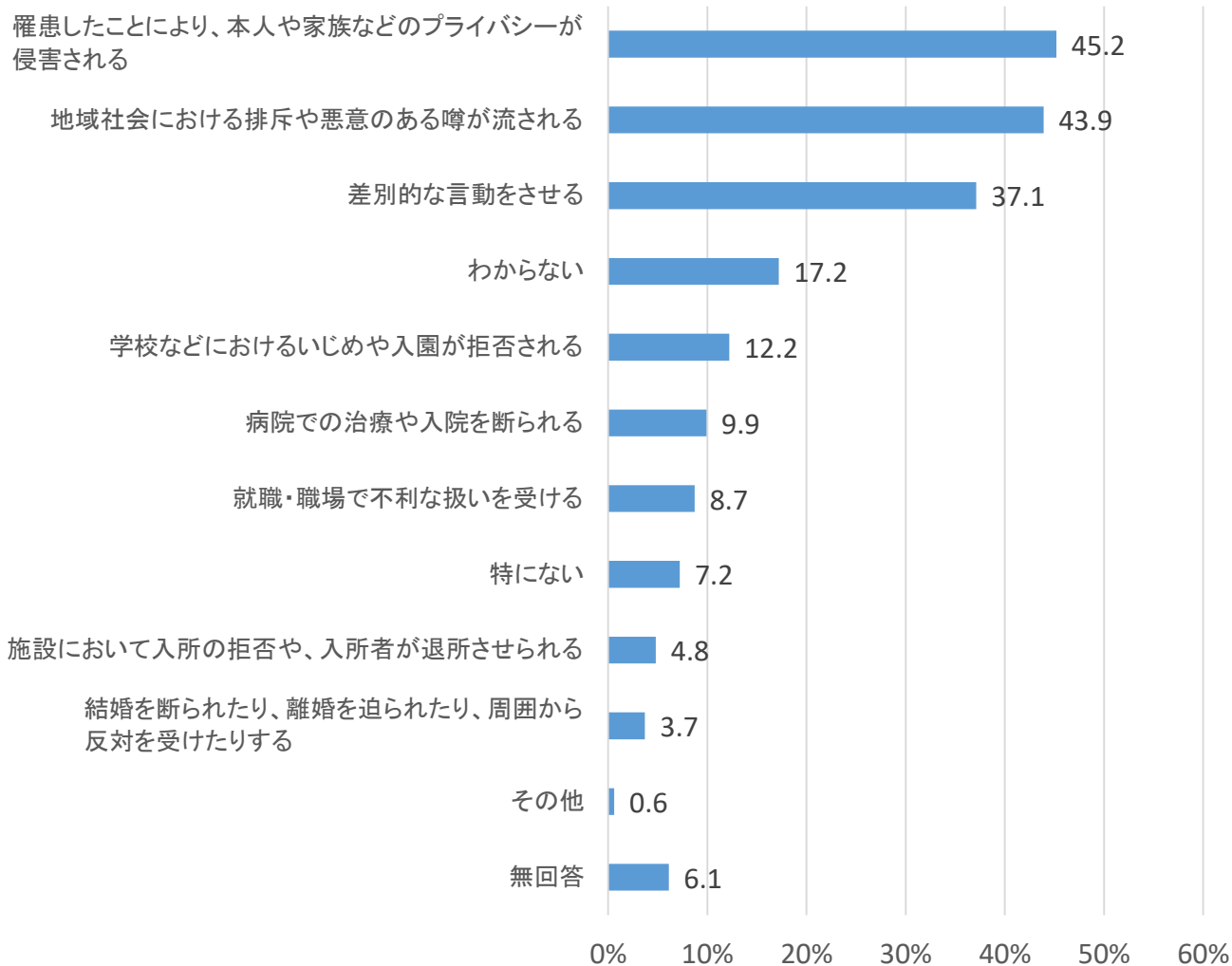
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

外国人の人権を守るために大切だと思うことについて、「異文化の理解のため、外国人との交流を促進する」25.6%が最も高く、次いで「外国人の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」23.7%、「学校等で異文化に対する理解や尊重に向けた教育の充実」20%の順となっている。

8 感染症患者等の人権について

問25. あなたは、感染症患者等の人権が尊重されていないと思うのはどのようなことですか。(〇は3つまで)



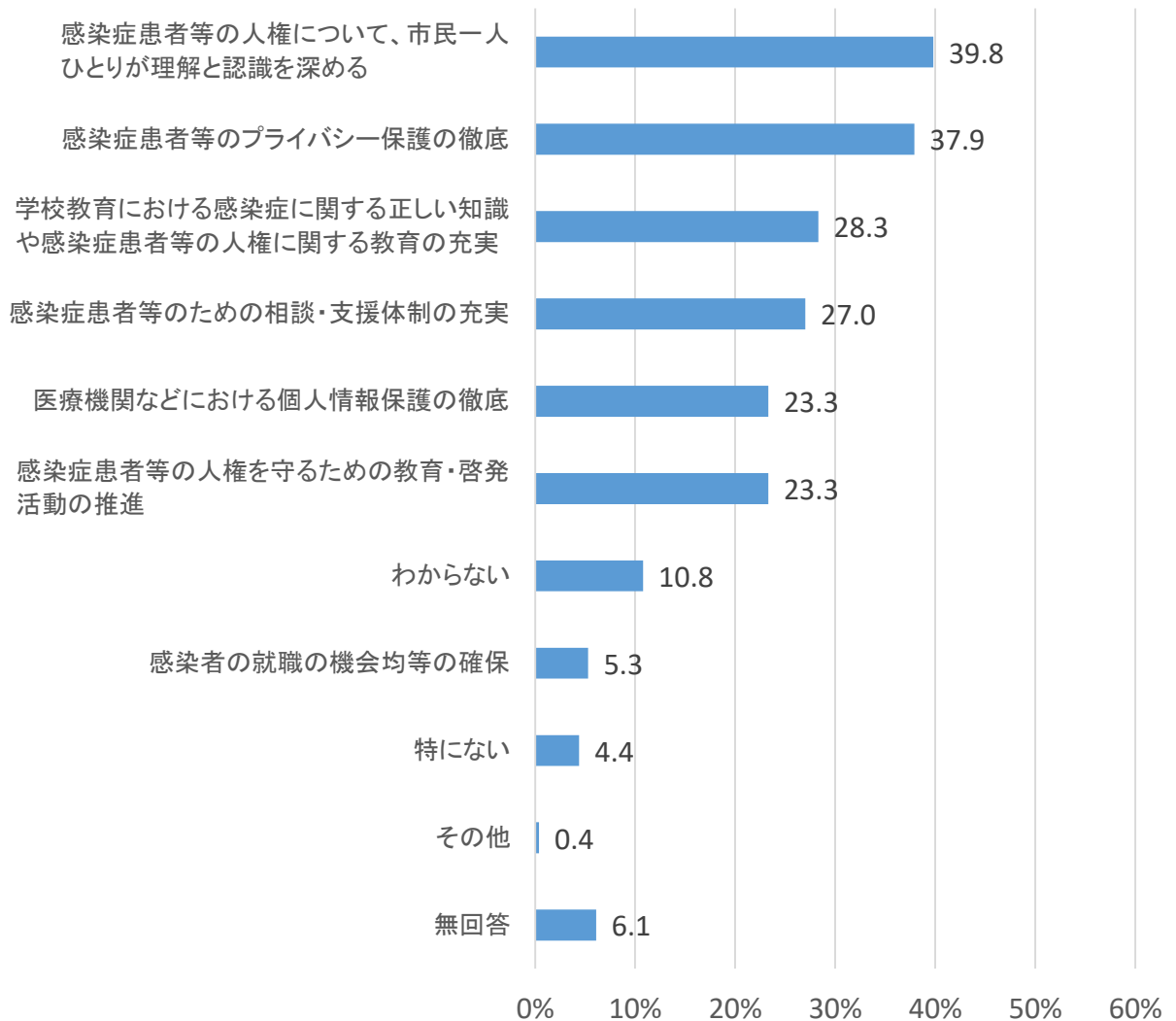
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

感染症患者等の人権が尊重されていないと思うことについて、「罹患したことにより、本人や家族などのプライバシーが侵害される」45.2%が最も高く、次いで「地域社会における排斥や悪意のある噂が流される」43.9%、「差別的な言動をされる」37.1%の順となっている。

8 感染症患者等の人権について

問26. 感染症患者等の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)



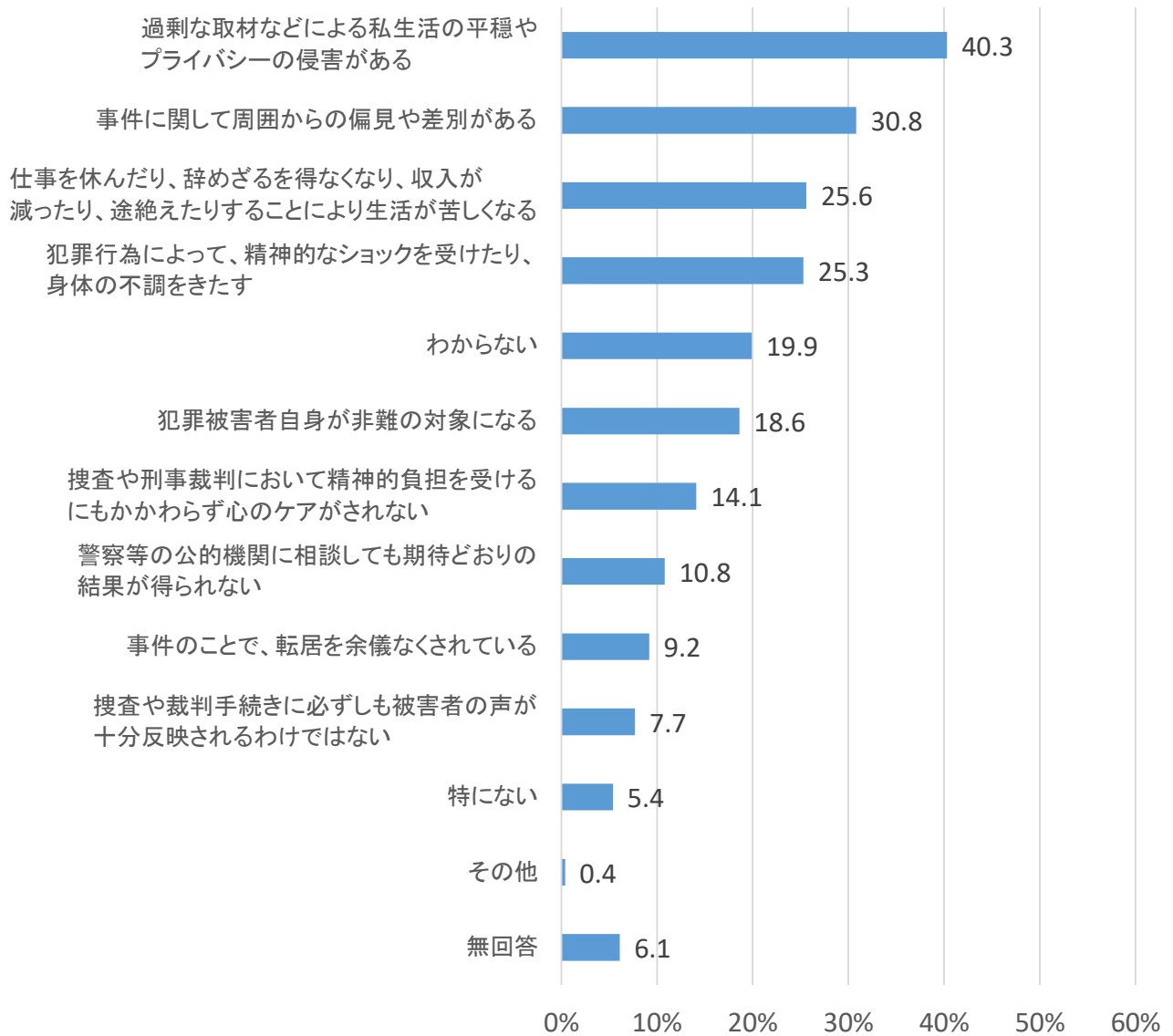
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

感染症患者等の人権を守るために必要だと思うことについて、「感染症患者等の人権について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」39.8%が最も高く、次いで「感染症患者等のプライバシー保護の徹底」37.9%、「学校教育における感染症に関する正しい知識や感染症患者等の人権に関する教育の充実」28.3%の順となっている。

9 犯罪被害者とその家族の人権について

問27. あなたは、犯罪被害者等の人権が尊重されていないと思うのはどのようなことですか。（○は3つまで）



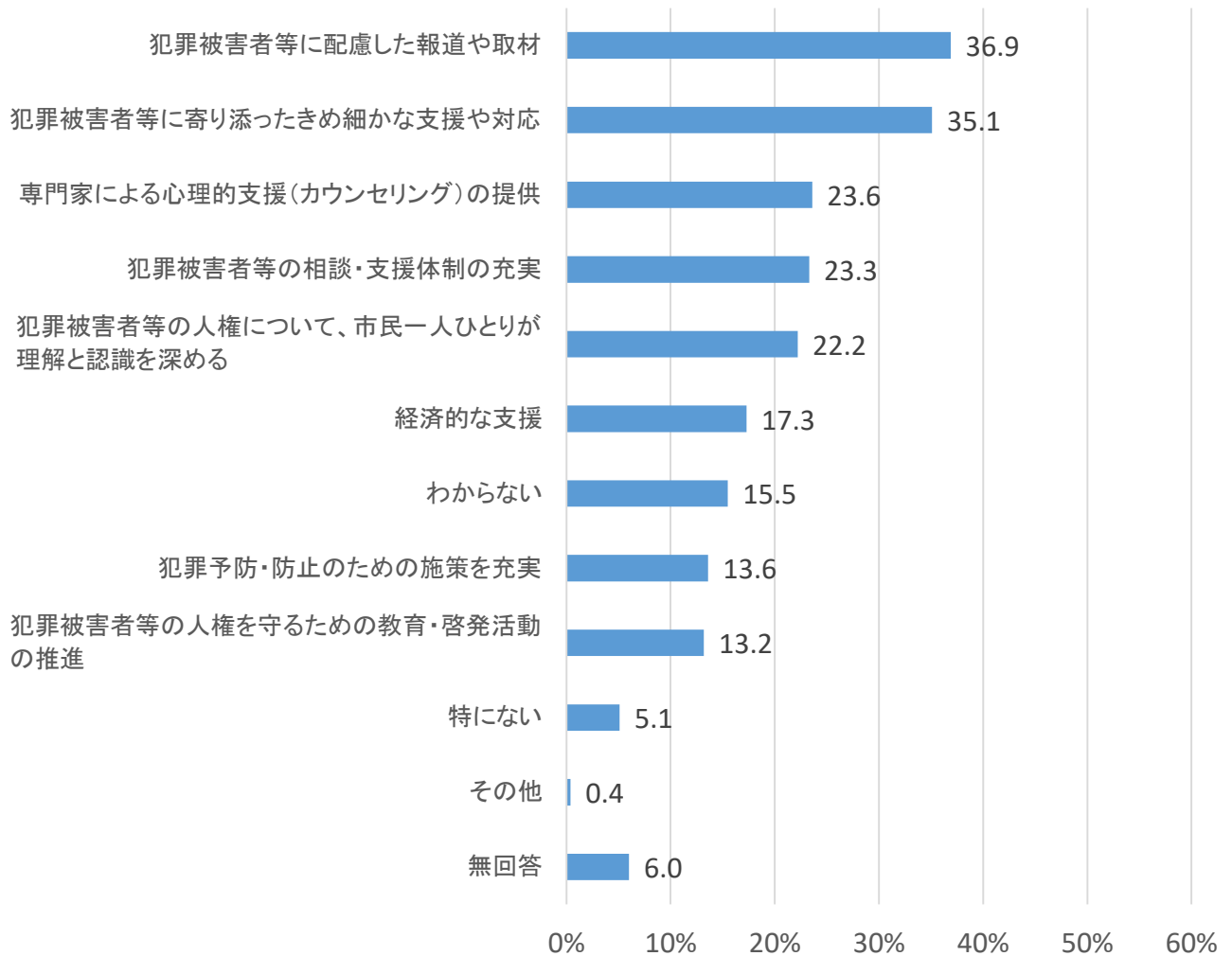
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■全体 (n=704)

犯罪被害者等の人権が尊重されていないと思うことについて、「過剰な取材などによる私生活の平穩やプライバシーの侵害がある」40.3%が最も高く、次いで「事件に関して周囲からの偏見や差別がある」30.8%、「仕事を休んだり、辞めざるを得なくなり、収入が減ったり、途絶えたりすることにより生活が苦しくなる」25.6%の順となっている。

9 犯罪被害者とその家族の人権について

問28. 犯罪被害者等の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)



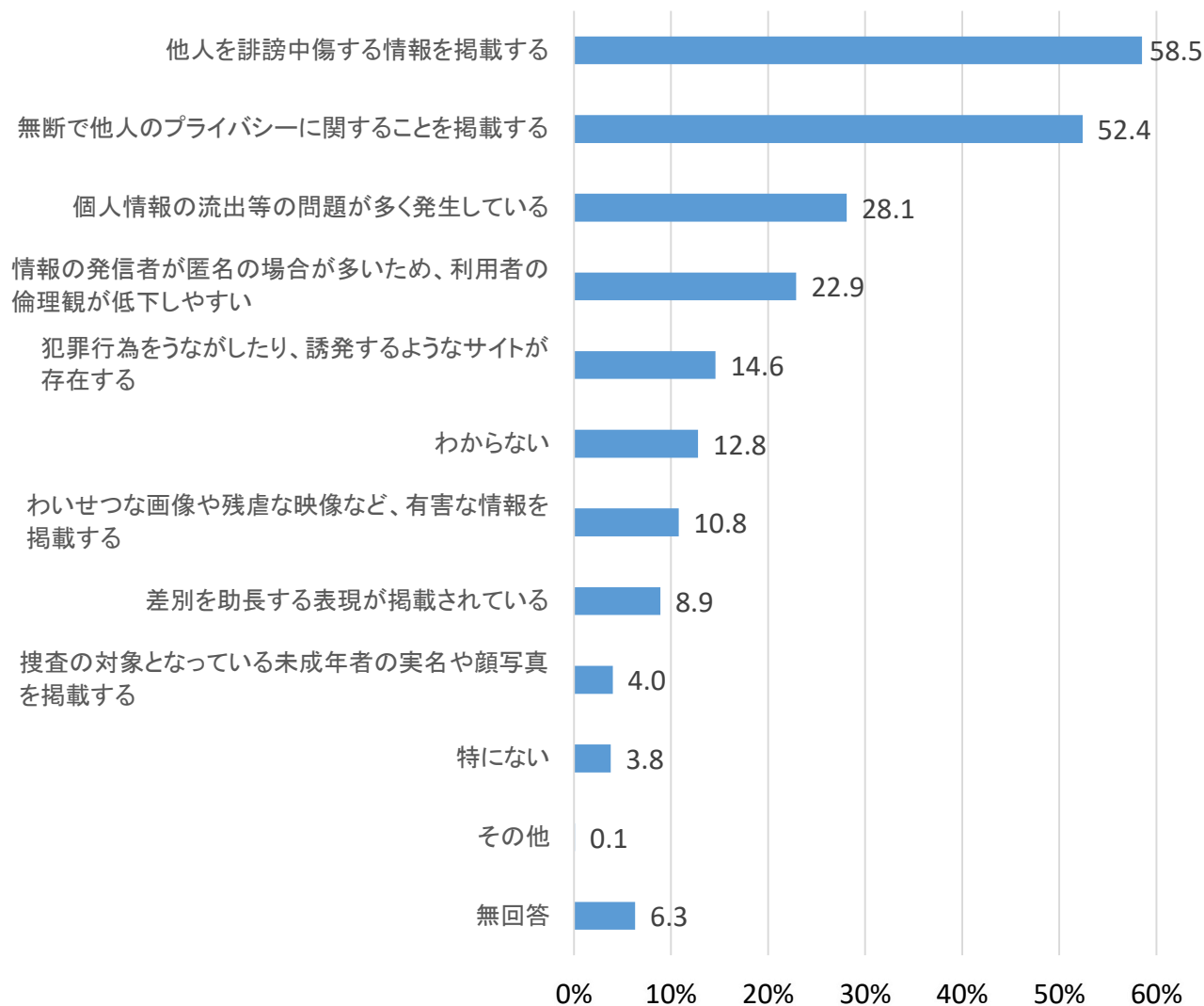
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

犯罪被害者等の人権を守るために必要だと思うことについて、「犯罪被害者等に配慮した報道や取材」36.9%が最も高く、次いで「犯罪被害者等に寄り添ったきめ細やかな支援や対応」35.1%、「専門家による心理的支援(カウンセリング)の提供」23.6%の順となっている。

10 インターネットによる人権侵害について

問29. あなたは、インターネットによる人権侵害で特に問題があると思われることはどのようなことですか。
(〇は3つまで)



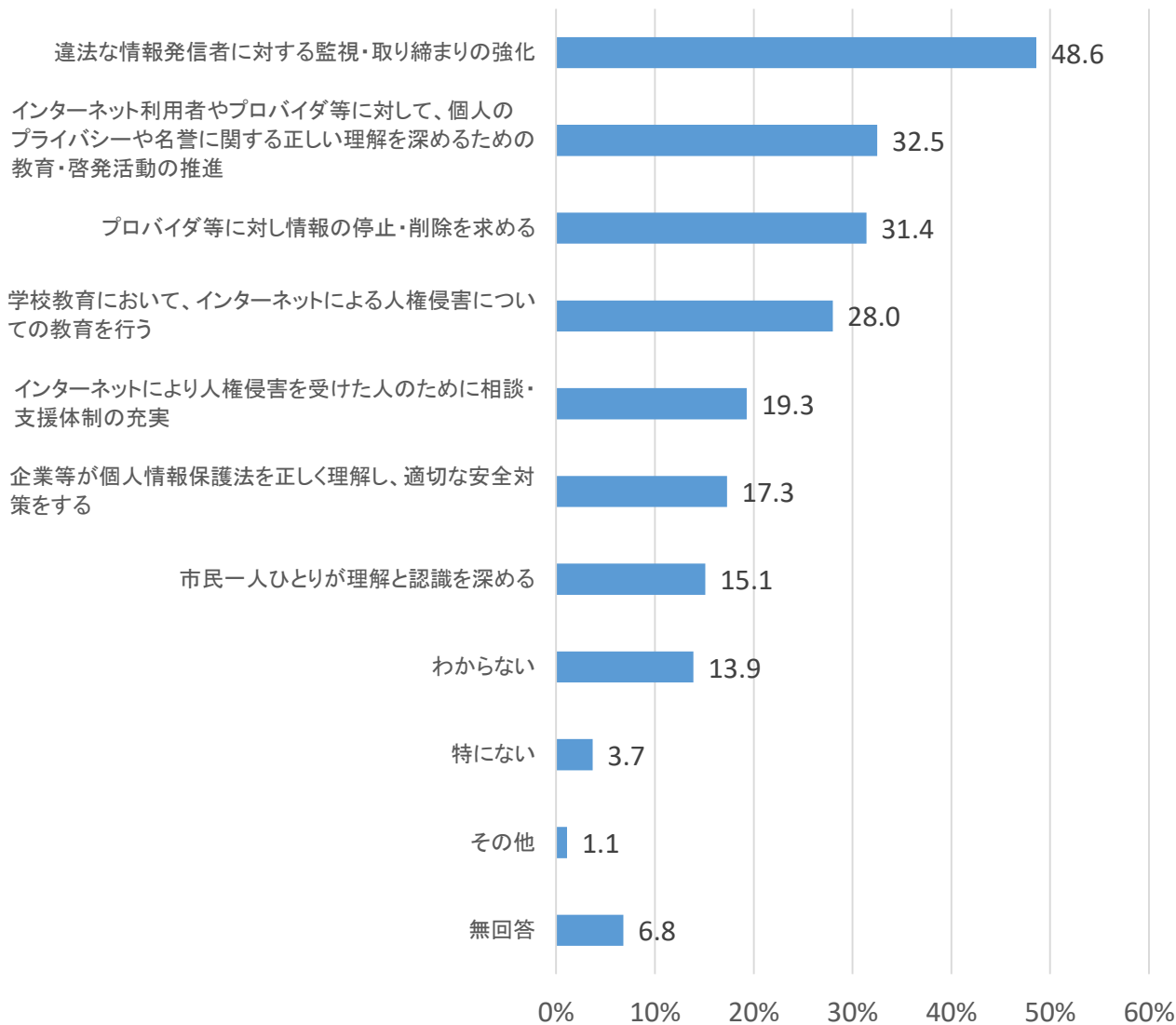
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

インターネットによる人権侵害で問題があると思うことについて、「他人を誹謗中傷する情報を掲載する」58.5%が最も高く、次いで「無断で他人のプライバシーに関することを掲載する」52.4%、「個人情報の流出等の問題が多く発生している」28.1%の順となっている。

10 インターネットによる人権侵害について

問30. インターネットによる人権侵害について、人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。
(〇は3つまで)



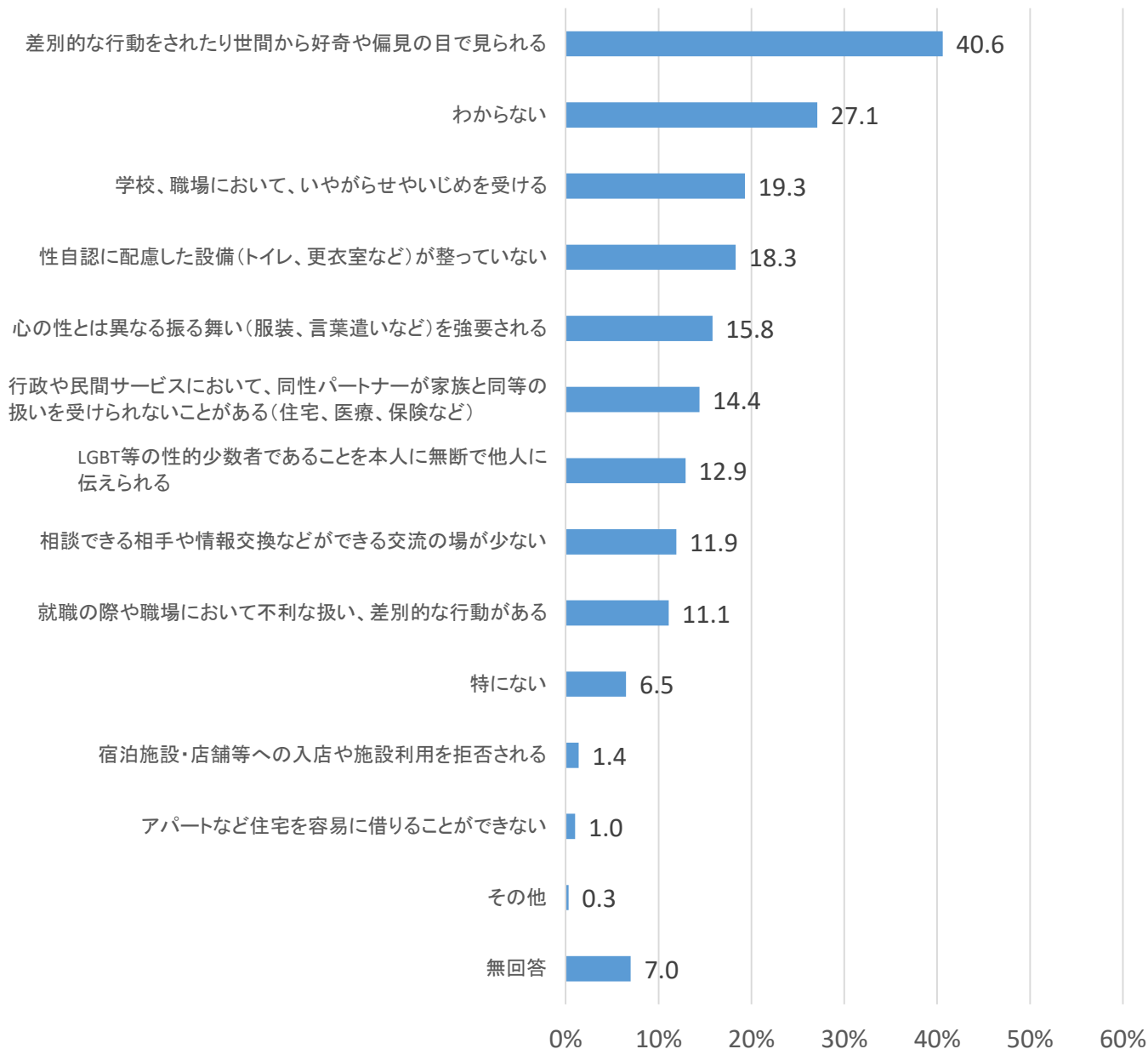
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■全体 (n=704)

インターネットによる人権侵害で人権を守るために必要だと思うことについて、「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりの強化」48.6%が最も高く、次いで「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発活動の推進」32.5%、「プロバイダ等に対し情報の停止・削除を求める」31.4%の順となっている。

11 性的指向・性自認に関する人権について

問31. あなたは、LGBT等の性的少数者の人権が尊重されていないと思うのはどのようなことですか。
(○は3つまで)



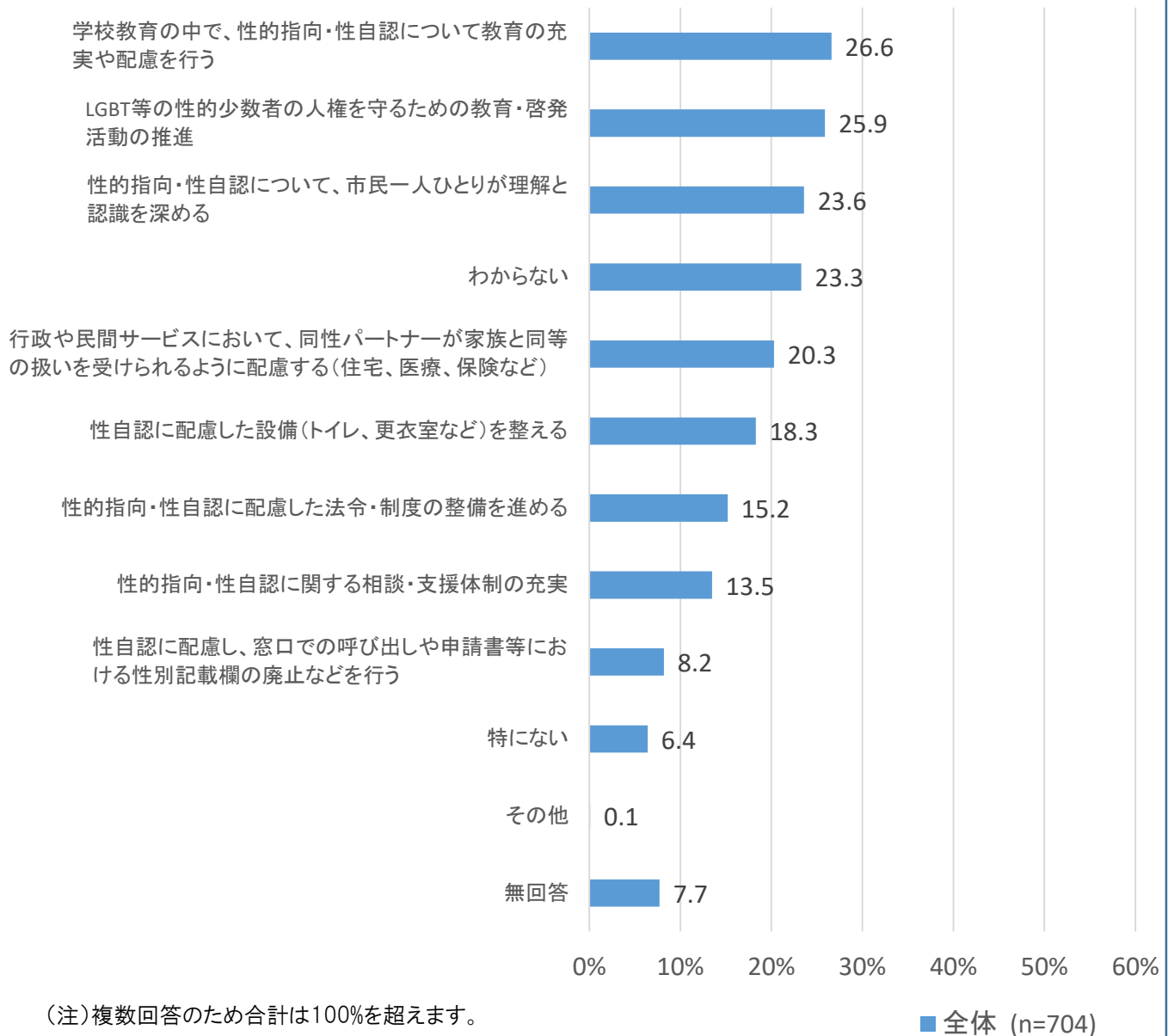
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

LGBT等性的少数者の人権が尊重されていないと思うことについて、「差別的な行動をされたり世間から好奇や偏見の目で見られる」40.6%が最も高く、次いで「わからない」27.1%、「学校、職場において、いやがらせやいじめを受ける」19.3%の順となっている。

11 性的指向・性自認に関する人権について

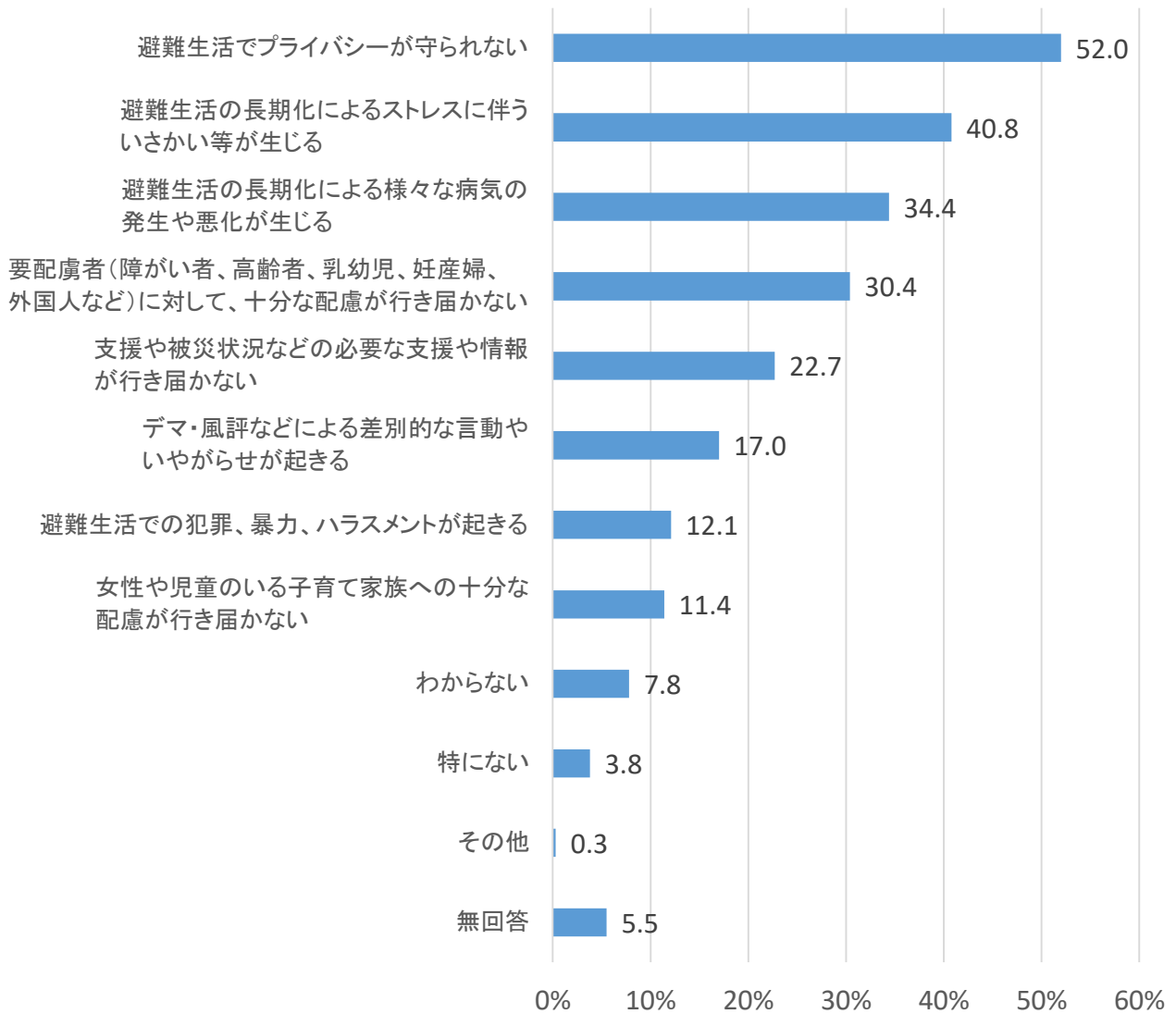
問32. LGBT等の性的少数者の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。
(〇は3つまで)



LGBT等性的少数者の人権を守るために必要だと思うことについて、「学校教育の中で、性的指向・性自認についての教育の充実や配慮を行う」26.6%が最も高く、次いで「LGBT等の性的少数者の人権を守るための教育・啓発活動の推進」25.9%、「性的指向・性自認について、市民一人ひとりが理解と認識を深める」23.6%の順となっている。

12 災害と人権について

問33. あなたは、地震など災害が起きた場合に、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。
(○は3つまで)



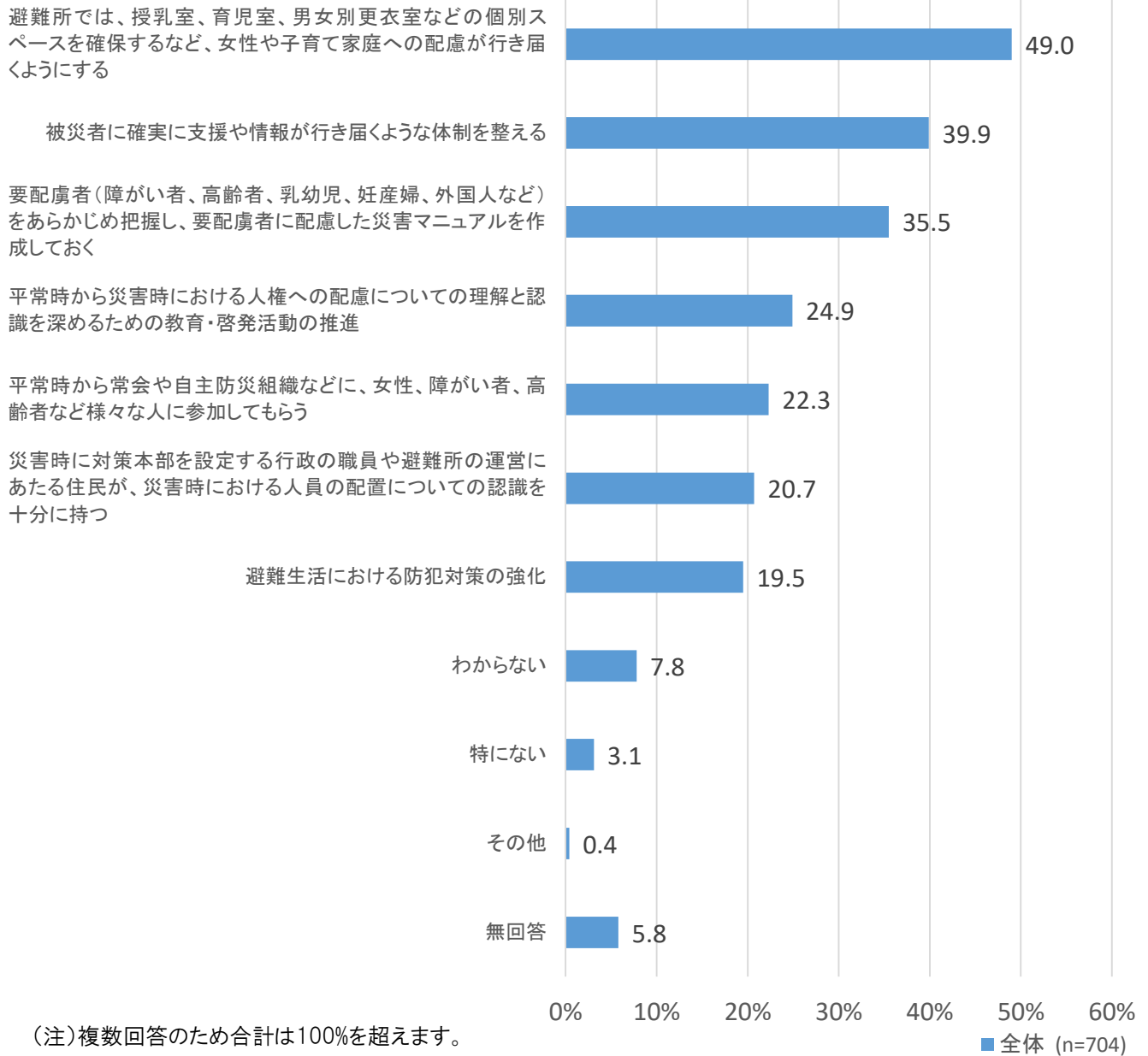
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

災害時に人権が尊重されていないと思うことについて、「避難生活でプライバシーが守られない」52.0%が最も高く、次いで「避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかい等が生じる」40.8%、「避難生活の長期化による様々な病気の発生や悪化が生じる」34.4%の順となっている。

12 災害と人権について

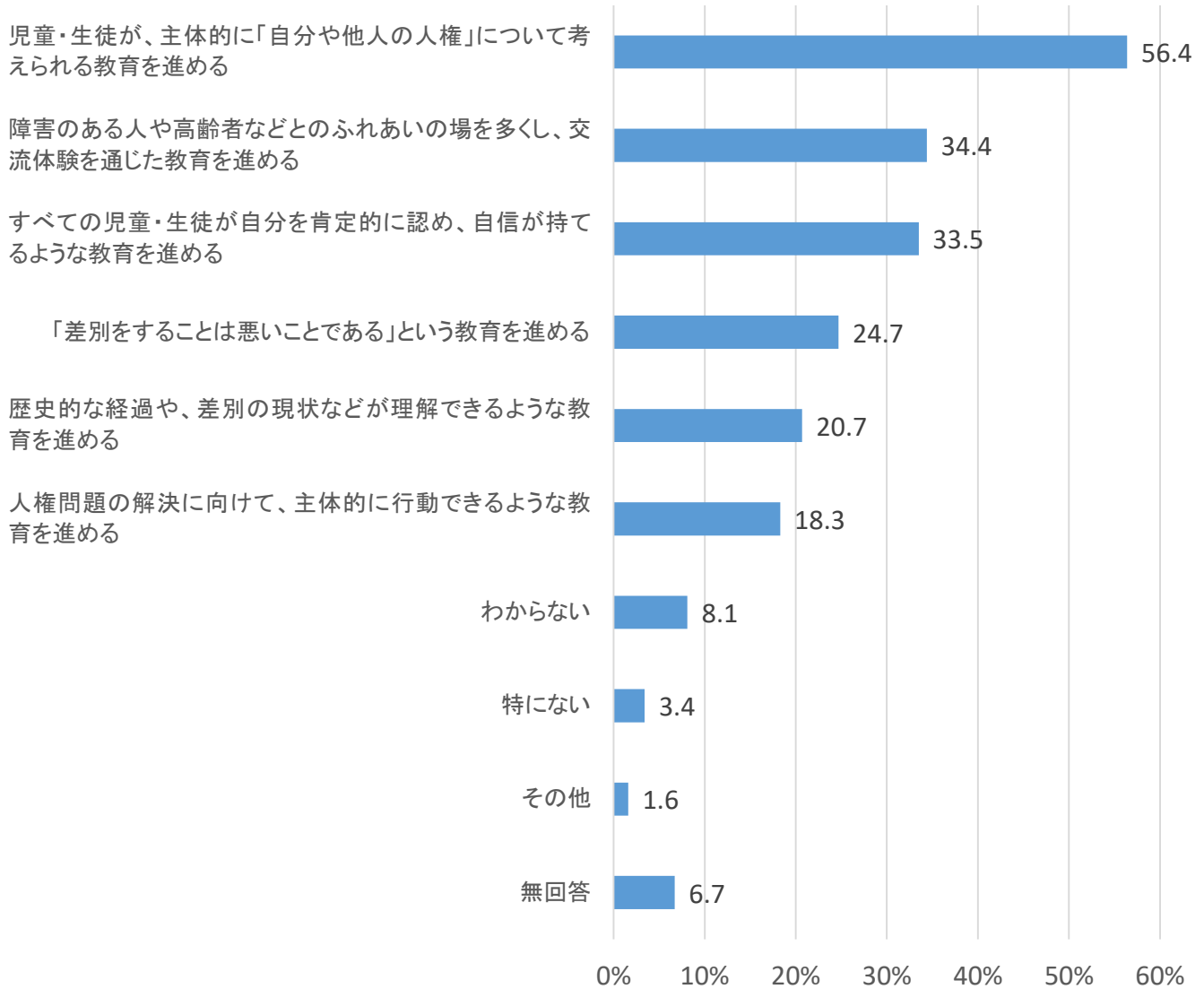
問34. 地震など災害時において人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)



災害時に人権を守るために必要だと思うことについて、「避難所では、授乳室、育児室、男女別更衣室などの個別スペースを確保するなど、女性や子育て家庭への配慮が行き届くようにする」49.0%が最も高く、次いで「被災者に確実に支援や情報が行き届くような体制を整える」39.9%、「要配慮者(障がい者、高齢者、乳幼児、妊産婦、外国人など)をあらかじめ把握し、要配慮者に配慮した防災マニュアルを作成しておく」35.5%の順となっている。

13 人権教育・啓発について

問35. あなたは、人権を尊重する心や態度を育むためには、学校においてどのような教育を進めていけばよいと思いますか。(〇は3つまで)



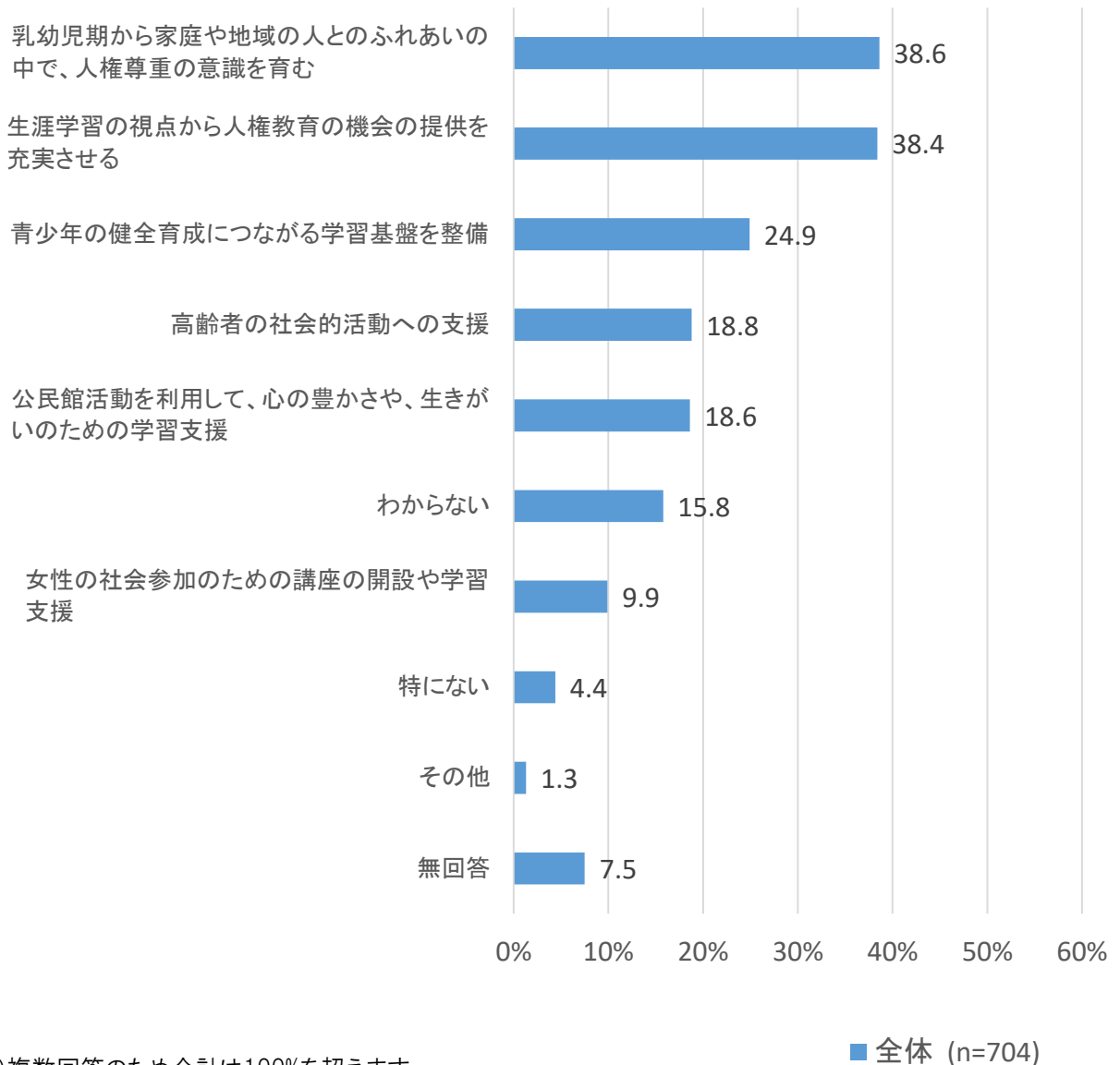
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

人権が尊重されていないと思うことについて、「児童・生徒が、主体的に「自分や他人の人権」について考えられる教育を進める」56.4%と最も高く、次いで「障害のある人や高齢者などとのふれあいの場を多くし、交流体験を通じた教育を進める」34.4%、「すべての児童・生徒が自分を肯定的に認め、自信が持てるような教育を進める」33.5%の順となっている。

13 人権教育・啓発について

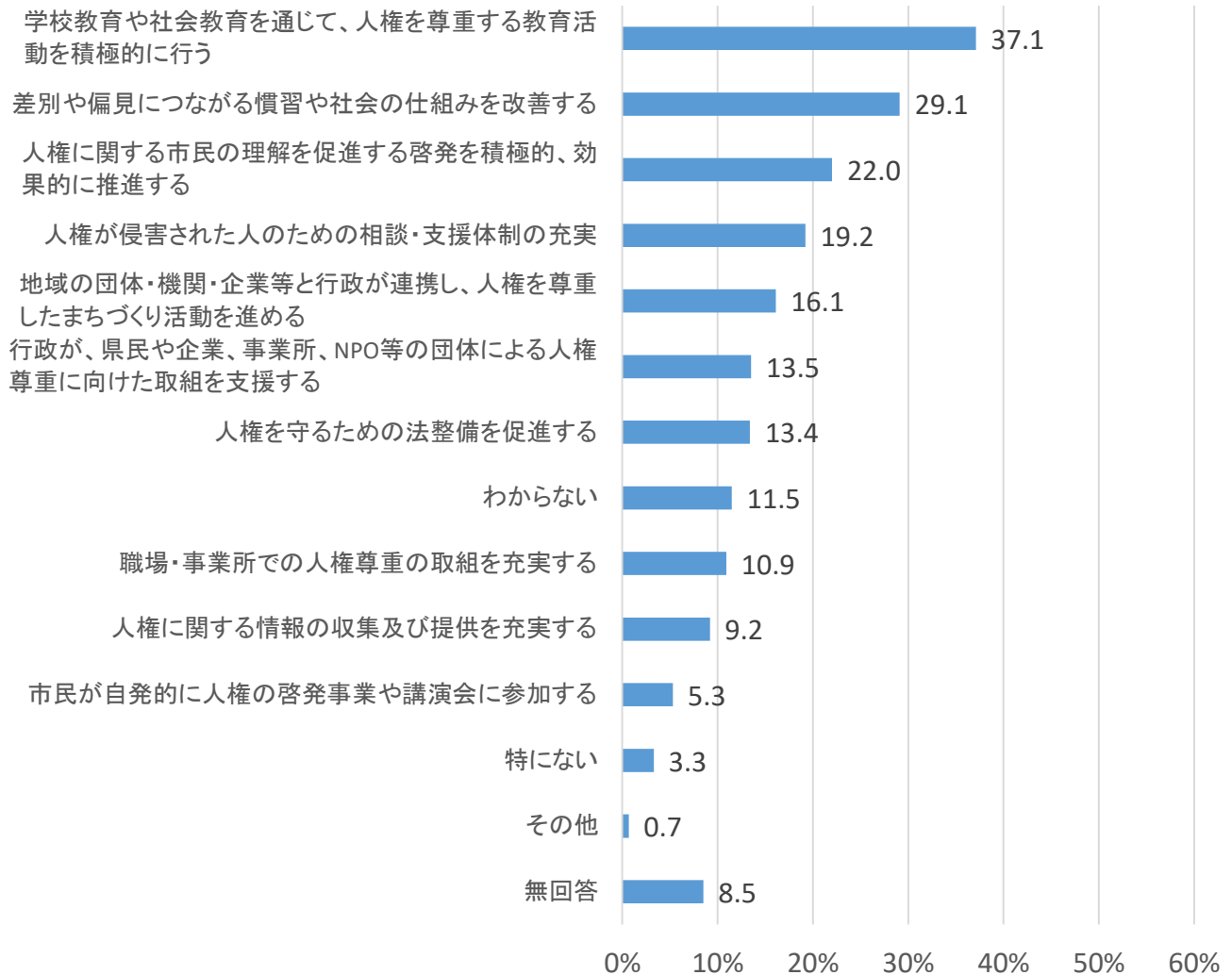
問36. 人権を尊重する心や態度を育むためには、生涯学習(社会教育)において、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



人権を守るために必要だと思うことについて、「乳幼児期から家庭や地域の人とのふれあいの中で、人権尊重の意識を育む」38.6%が最も高く、次いで「生涯学習の視点から人権教育の機会の提供を充実させる」38.4%、「青少年の健全育成につながる学習基盤を整備」24.9%の順となっている。

13 人権教育・啓発について

問37. あなたは、人権が尊重される社会を実現するために、今後特に、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



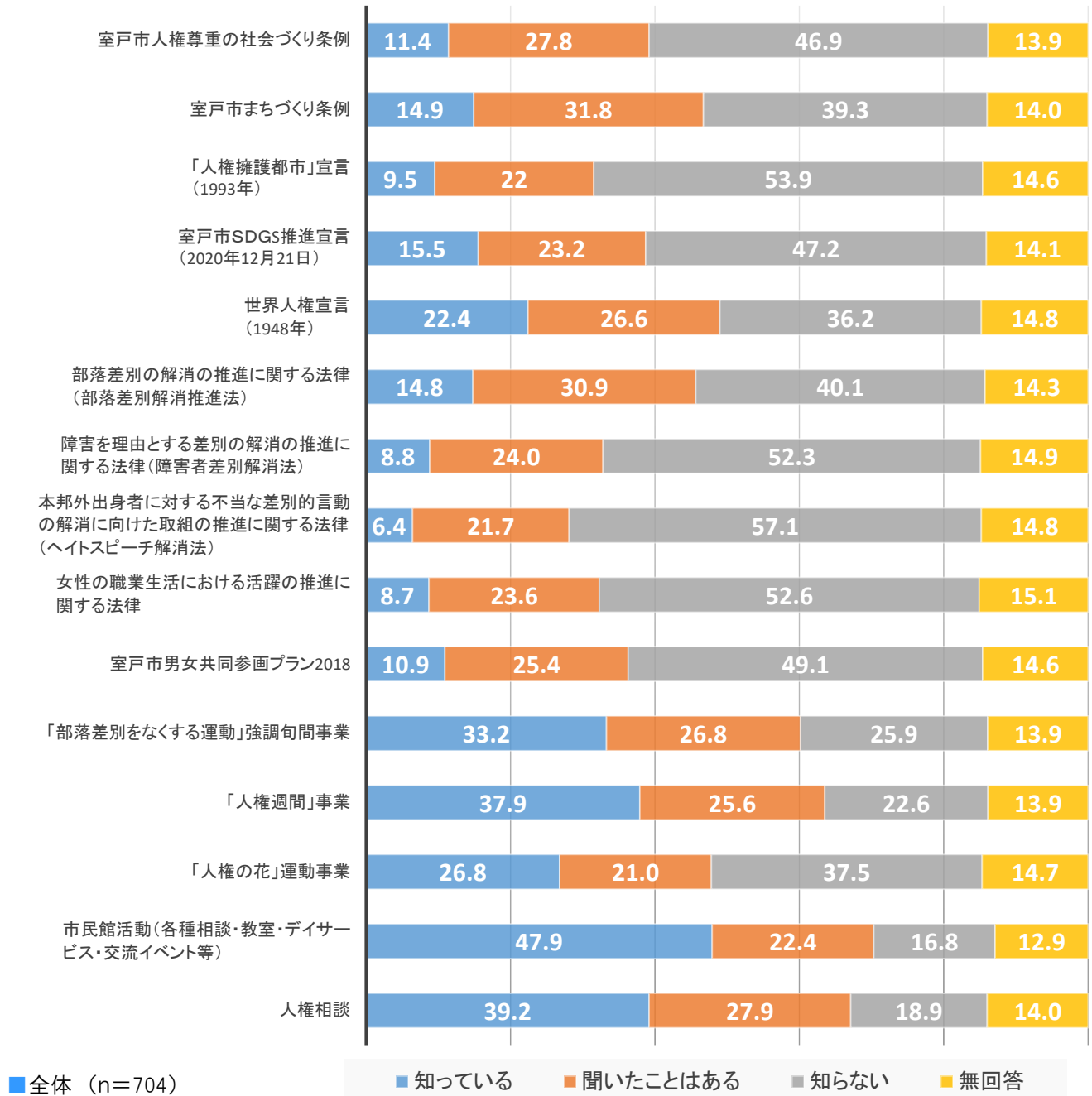
(注)複数回答のため合計は100%を超えます。

■ 全体 (n=704)

人権が尊重される社会を実現するために必要だと思うことについて、「学校教育や社会教育を通じて、人権を尊重する教育活動を積極的に行う」37.1%が最も多く、次いで「差別や偏見につながる慣習や社会の仕組みを改善する」29.1%、「人権に関する市民の理解を促進する啓発を積極的、効果的に推進する」22.0%となっている。

13 人権教育・啓発について

問38. あなたは、次の人権に関する宣言や法律、条例、市の取組についてどの程度ご存知ですか。
(それぞれ1つに○)



市の取組については、「知っている」、「聞いたことがある」を合わせると、市民館活動70.3%、人権相談67.1%、「人権週間」事業63.5%、「部落差別をなくする運動」強調旬間事業60.0%等の事業が認知されている。また、宣言や法律、条例については、世界人権宣言49.0%、室戸まちづくり条例46.7%、部落差別の解消の推進に関する法律45.7%の順で認知されている。